

iEシリーズ

データ設定用プログラム(iE/S) Ver.5.2.0.X

データ設定用プログラム(iE/M) Ver.5.2.0.X

データ設定用プログラム(iE/L) Ver.5.2.0.X

取扱説明書

利用規約

本規約に同意戴いた場合のみダウンロード及び使用して戴くことができます。

1. 著作権

データ設定用プログラム(iE/S)、データ設定用プログラム(iE/M)、データ設定用プログラム(iE/L)〔以下本プログラムという〕の著作権は株式会社日立製作所及び株式会社ナカヨ通信機にある。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

2. 使用範囲

本プログラムの使用はシステムデータ設定及び電話帳データ設定に限る。

3. 複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の据付・メンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての登録会社はプログラムが記録或いは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体に拘らず、当社が保持する。

6. 機密保持

使用にあたっての登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。更に、登録していない人物に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報(お客様のデータ設定、電話帳データ等)は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏洩、改ざん等の危険にさらされない様に取扱権限者の明確化等の組織的な対応、更に悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

〔個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容〕

使用目的:本プログラムを使用することにより、工事/保守時間の短縮を図ることを目的とする。

お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。

お客様データ、短縮ダイヤル情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出(海外提供)される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

—— 目次 ——

第1部 (概要編)

1. はじめに (必ずお読みください)	1-1
1-1 本プログラムの概要	1-1
1-2 パソコン側の条件	1-2
1-3 接続方法	1-2
1-4 本プログラムの新規インストール	1-4
1-5 本プログラムのバージョンアップ	1-4
1-6 本プログラムのアンインストール	1-5
1-7 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの注意事項	1-6
1-8 ダイアルアップ接続の設定方法 (パソコンリモートサービス利用時)	1-7
1-9 Q & A集	1-14

第2部 (パソコンデータ設定編)

1. 本プログラムの操作の流れ	2-1
2. プログラムの起動 ~ 主装置データアップロード / 短縮データアップロード	2-2
3. ユーザー情報設定	2-5
4. データ設定	2-6
EXCELを使用して電話帳データを作成、編集する場合	2-13
5. システムデータシート印刷	2-17
6. 主装置データダウンロード / 短縮データダウンロード ~ プログラムの終了	2-21
7. 主装置交換時の処置方法	2-24

第3部 (パソコンリモートサービス編)

1. 本プログラムの操作の流れ	3-1
2. プログラムの起動	3-2
3. ユーザー情報設定	3-3
4. リモート主装置データアップロード / リモート短縮データアップロード	3-4
5. データ設定	3-7
6. システムデータシート印刷	3-14
7. リモート主装置データダウンロード / リモート短縮データダウンロード ~ プログラムの終了	3-16

本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。また、内容的に違いがない場合は、Windows Vista® の画面で記載しています。

Windows® XPIはMicrosoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows Vista® はMicrosoft® Windows Vista® operating systemの略です。
Windows® 7はMicrosoft® Windows® 7 operating systemの略です。
Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

第1部 (概要編)

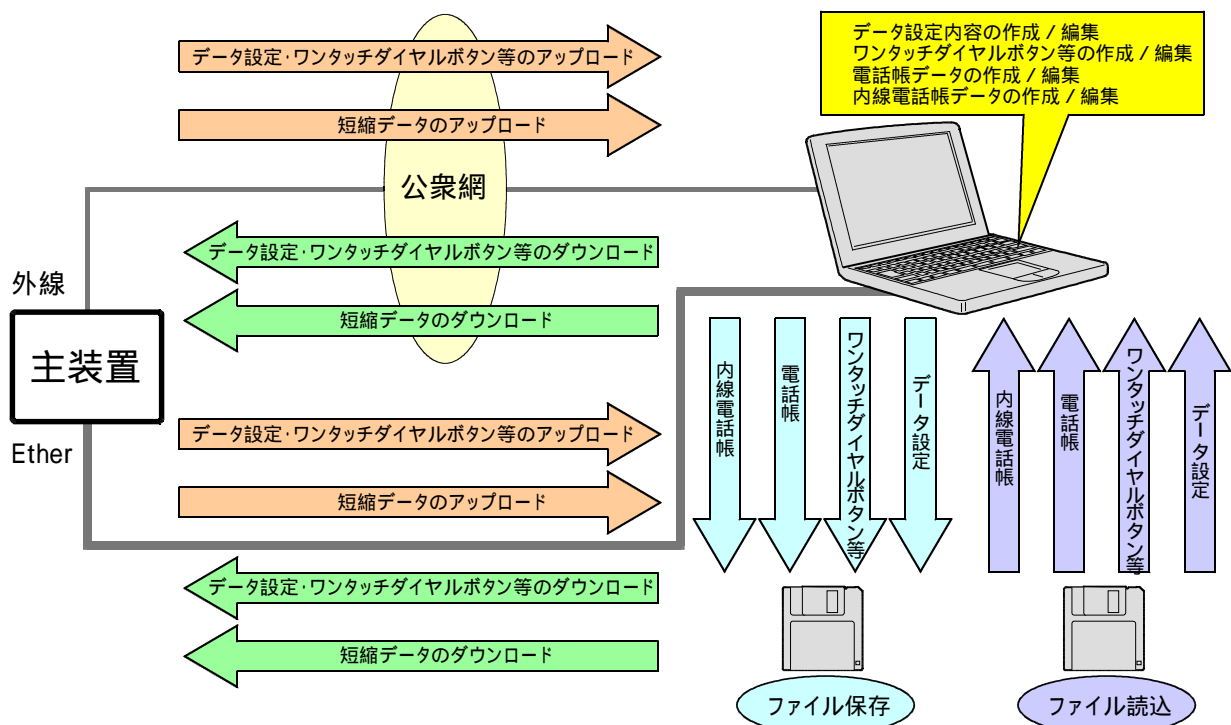
1. はじめに (必ずお読みください)

1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

パソコンデータ設定 詳細は第2部参照	主装置のデータをパソコンにアップロードする データ設定(ワンタッチダイヤルボタン等のデータを含む)のアップロード、短縮データのアップロードは別々に行います。 新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。
	パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。 「工事・保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。
	パソコン上でワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。
	パソコン上で電話帳・内線電話帳データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。
	パソコン上のデータを主装置にダウンロードする データ設定(ワンタッチダイヤルボタン等のデータを含む)のダウンロード、短縮データのダウンロードは別々に行います。
パソコンリモートサービス 詳細は第3部参照	主装置のデータを公衆回線を使ってパソコンにアップロードする データ設定(ワンタッチダイヤルボタン等のデータを含む)のアップロード、短縮データのアップロードは別々に行います。 新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。
	パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。 「工事・保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。
	パソコン上でワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。
	パソコン上で電話帳・内線電話帳データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読込も可能です。
	パソコン上のデータを公衆回線を使って主装置にダウンロードする データ設定(ワンタッチダイヤルボタン等のデータを含む)のダウンロード、短縮データのダウンロードは別々に行います。

*: パソコン単独でも各種データの作成、ファイル保存、ファイルからの読込が可能です。(事前に設定ファイルを作成するときなど)



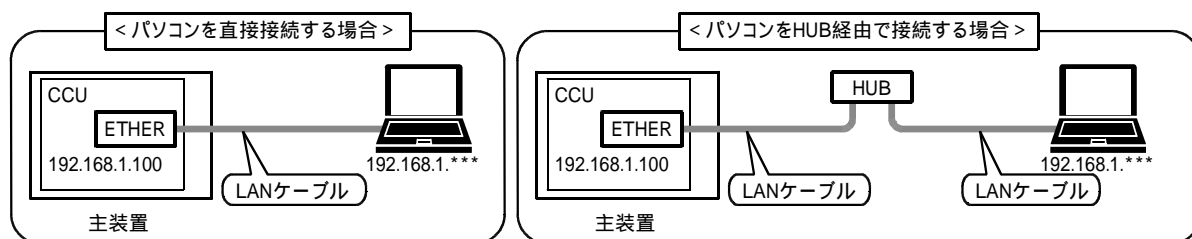
1 - 2 パソコン側の条件

- (1) パソコン: DOS/V(PC-AT互換機)
- (2) OS: Windows® XP Home Edition 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows® XP Professional 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows Vista® Ultimate 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows Vista® Business 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows Vista® Home Premium 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows Vista® Home Basic 日本語版(32bit版のみ対応)、Windows Vista® Enterprise 日本語版(32bit版のみ対応)
Windows® 7 Home Premium 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 7 Professional 日本語版(32/64bit版対応)
Windows® 7 Enterprise 日本語版(32/64bit版対応)、Windows® 7 Ultimate 日本語版(32/64bit版対応)
- (3) CPU: Intel® Celeron™ 1GHz相当以上(Windows® XP)
Intel® Celeron™ 1.7GHz相当以上(Windows Vista® / Windows® 7)
- (4) 必要メモリ容量: 256MB以上(Windows® XP) / 512MB以上(Windows Vista®)
1GB以上(Windows® 7 32bit版) / 2GB以上(Windows® 7 64bit版)
- (5) ハードディスク容量: 100MB以上(セットアップ時)
- (6) 画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
- (7) 必要なハードウェア: Etherポート

パソコンリモートサービスを行う場合は、アナログ回線用のモデムが必要です。(ISDN回線を使用する場合は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータも必要です。ターミナルアダプタ/ダイヤルアップルータのアナログポートにパソコンのモデムを接続します。)

1 - 3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



ご注意

主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、データ設定により環境に合わせてIPアドレス変更してください。

詳細は、「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド *9400 を参照

使用するパソコンの条件...LANカード/LANボード装着済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済、ブラウザ:「Internet Explorer 6.0」以上

使用するパソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。

例:主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.***」を設定します(3オクテットまで同一にする)。

「Internet Explorer」は下記の設定を行ってください。「パソコンリモートサービス」を行うときも、 以外の設定が必要です。

[ツール(T)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする

「インターネット オプション 画面」の[全般]タブにある「閲覧の履歴」の をクリックする

「インターネット一時ファイルと履歴の設定 画面」の「保存しているページの新しいバージョンの確認」の下の「Webサイトを表示するたびに確認する(E)」を選択し、 をクリックする

「インターネット オプション 画面」の[接続]タブにある をクリックする

「ローカル エリア ネットワーク(LAN)の設定 画面」の「プロキシ サーバー」の下の「ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)」をチェックし、 をクリックする

または、「LANにプロキシ サーバーを使用する」はチェックを入れずに、 をクリックする(通常はプロキシサーバーを使用しているLANに接続しないパソコンの場合)

「インターネット オプション」画面の をクリックする

「Internet Explorer 6.X」の場合は、 および は下記の操作を行います。

[全般]タブにある「インターネット一時ファイル」の をクリックする

「ページを表示するごとに確認する(E)」を選択し、 をクリックする

ご注意

使用するパソコンの「ファイアウォール」の設定は行わないでください。正常にアップロード、ダウンロードできなくなります。

Windows® XPの場合

[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワークとインターネット接続 画面」の[ネットワーク接続]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル(C)]から[ネットワーク接続]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)

「ネットワーク接続 画面」の[ローカル エリア接続]を右クリックし、[プロパティ(R)]をクリックする

「ローカル エリア接続のプロパティ 画面」の[詳細設定]タブをクリックする

をクリックすると「Windows ファイアウォール 画面」となるので、「無効 (推奨されません) (F)」を選択し、

をクリックする(Windows® XP SP2以降の場合)

「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外し をクリックする(Windows® XP SP2より古い場合)

Windows® XP SP2以降でカテゴリ表示の場合は、下記の操作も可能です。

[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワークとインターネット接続 画面」の[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

「Windows ファイアウォール 画面」で「無効 (推奨されません) (F)」を選択し、 をクリックする

Windows Vista® の場合

[コントロール パネル]から[ネットワークとインターネット]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(コントロールパネル ホーム表示の場合)

[コントロール パネル]から[セキュリティ センター]をクリックし、「セキュリティ センター 画面」の[Windows ファイアウォール]をクリックする(クラシック表示の場合)

「Windows ファイアウォール 画面」の[設定の変更]をクリックし、[詳細設定]タブをクリックする

「ネットワーク接続の設定」で、[ローカルエリア接続]のチェックを外し、 をクリックする

パソコンリモートサービスをご利用の場合には、[ローカルエリア接続]の他に、リモートサービス用のネットワーク設定に関しても同様にチェックを外してください。

Windows® 7の場合

[コントロール パネル]から[システムとセキュリティ]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル]から[Windows ファイアウォール]をクリックする(大きいアイコンまたは小さいアイコン表示の場合)

「Windows ファイアウォール 画面」の[詳細設定]をクリックする

「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール 画面」の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブ(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブ)をクリックする

「保護されているネットワーク接続」の をクリックし、[ローカルエリア接続]のチェックを外し、 をクリックする

パソコンリモートサービスをご利用の場合には、[ローカルエリア接続]の他に、リモートサービス用のネットワーク設定に関しても同様にチェックを外してください。

本プログラムを使用するときは、他のアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足ため、サーバが起動しませんでした。」のエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

1 - 4 本プログラムの新規インストール

初めて本プログラムをインストールする手順は下記のとおりです。

ダウンロードしたファイルを実行します。

以降、画面の指示に従ってください。

標準インストール先

データ設定用プログラム (iE / S) の場合 ... 「C:\Program Files\iE_DAT1_S」フォルダ

データ設定用プログラム (iE / M) の場合 ... 「C:\Program Files\iE_DAT1_M」フォルダ

データ設定用プログラム (iE / L) の場合 ... 「C:\Program Files\iE_DAT1_L」フォルダ

プログラム名

データ設定用プログラム (iE / S) の場合 ... 「DDUIESXXXX.exe」

データ設定用プログラム (iE / M) の場合 ... 「DDUIEMXXXX.exe」

データ設定用プログラム (iE / L) の場合 ... 「DDUIELXXXX.exe」

プログラム名の「XXXX」はプログラムのバージョンを示します。

本プログラムをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

本プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラ等で、上記インストール先のフォルダにある本プログラムのファイルを右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。

本プログラム起動後の『メイン画面』でもバージョンが表示されます。

Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7のパソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。

1 - 5 本プログラムのバージョンアップ

以前、本プログラムを使用していて、最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

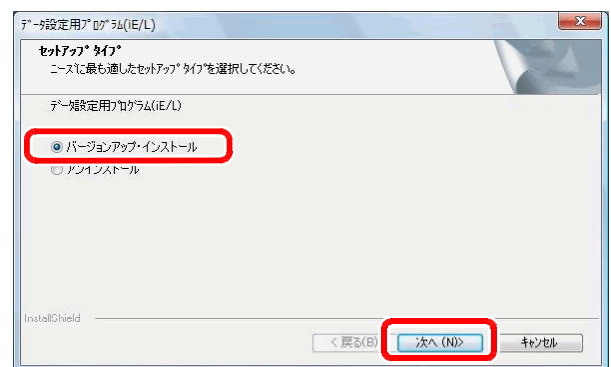
ダウンロードしたファイルを実行します。

しばらくすると「セットアップタイプ 画面」となります。

「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックしてください。

以降、画面の指示に従ってください。

インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



ご注意

Windows Vista® / Windows® 7をご使用で本プログラムのインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して **続行** (Windows Vista® の場合) / **はい(Y)** (Windows® 7の場合) をクリックしてください。

1 - 6 本プログラムのアンインストール

本プログラムをパソコンから削除する場合は、下記の手順で行います。

Windows® XP の場合

[マイコンピュータ] [コントロールパネル]

[プログラムの追加と削除]を選択します。

削除したいプログラムを選択し、**削除** をクリックします。

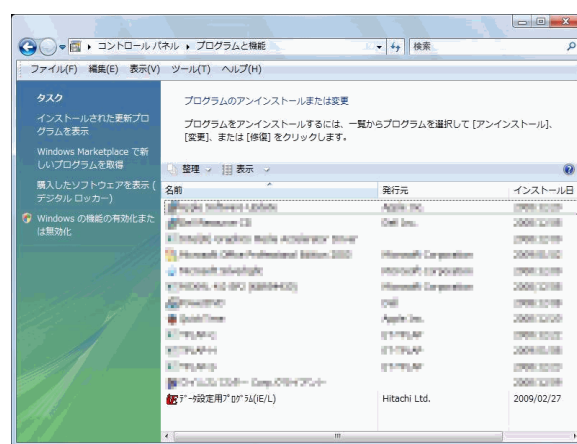


Windows Vista® / Windows® 7 の場合

[コンピュータ]

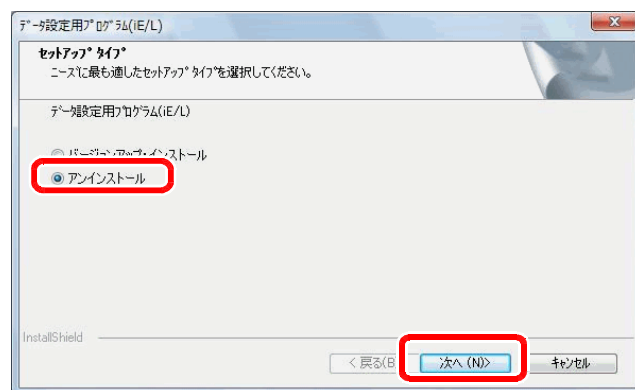
[プログラムのアンインストールと変更]を選択します。

削除したいプログラムを選択し、ダブルクリックします。



しばらくすると「セットアップタイプ 画面」となります。
「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

以降、画面の指示に従ってください。



ご注意

Windows Vista® / Windows® 7をご使用で本プログラムのアンインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **続行** (Windows Vista® の場合) / **はい(Y)** (Windows® 7の場合) をクリックしてください。
Windows Vista® をご使用の場合、アンインストール後にショートカットアイコンが残ってしまう場合があります。画面の更新または、再起動を行なうと消去されます。

1 - 7 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの注意事項

データ設定済の主装置に対してデータ設定や短縮データを変更するときは、下記に注意してください。

ご注意

データ設定済の主装置に対して、本プログラムで新規に作成またはファイルから読み込んだデータ設定や短縮データを主装置にダウンロードすると、パソコン側で設定したデータに置き換わります。

データ設定済の主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。特に短縮データに関しては、お客様が変更・追加を行っている可能性がありますので注意してください。

既設品の主装置のデータ設定・短縮データ変更手順

「主装置データアップロード」または「短縮データアップロード」を行う(変更対象のもの)。

(パソコンリモートサービスの場合は「リモート主装置データアップロード」または「リモート短縮データアップロード」を行う。)

本プログラムを終了しないで、データを変更する。必要に応じてファイルの保存を行ってください。

ファイルの読み込みは行わないでください。

「主装置データダウンロード」または「短縮データダウンロード」を行う(変更対象のもの)。

(パソコンリモートサービスの場合は「リモート主装置データダウンロード」または「リモート短縮データダウンロード」を行う。)

一部のデータをパソコンで変更する場合は、Web設定(「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の最後に記載の「Web設定について」参照)を利用することもできます。本プログラムは不要です。

1 - 8 ダイアルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)

パソコンリモートサービスを行う場合は、ダイアルアップ接続の設定が必要です。

ご注意

使用するパソコンの条件...アナログモデム装着または接続済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済、ブラウザ:「Internet Explorer 6.0」以上
ISDN回線を使用するときもアナログモデムが必要です。(ターミナルアダプタまたはダイアルアップルータも必要です。ターミナルアダプタ/ダイアルアップルータのアナログポートにパソコンのモデムを接続します。)
使用する外線(*034)/ダイアルアップWeb設定用IPアドレス(*9406)等のデータ設定が必要です。 詳細は、主装置の「工事・保守マニュアル」を参照してください。

Windows® XP の場合

[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワークとインターネット接続 画面」の[ネットワーク接続]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

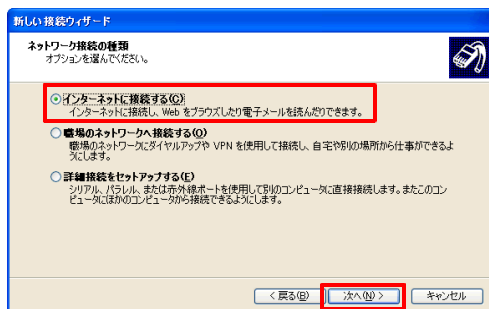
[コントロール パネル(C)]から[ネットワーク接続]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)

「ネットワーク接続 画面」の[ネットワーク タスク]の[新しい接続を作成する]をクリックする

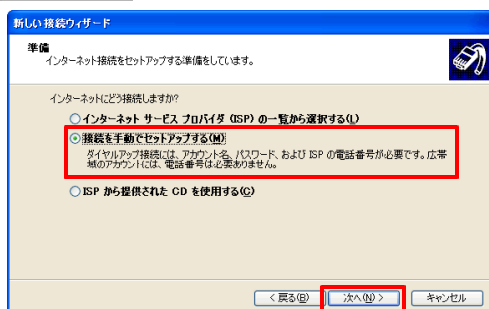


「新しい接続ウィザード」が開くので [次へ(N)>] をクリックする

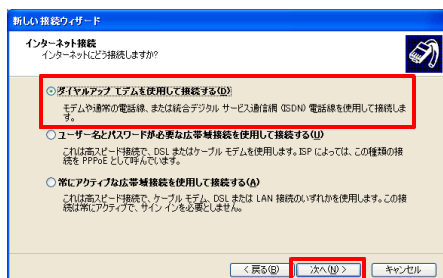
「ネットワーク接続の種類 画面」の「インターネットに接続する(C)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする



「準備 画面」の「接続を手動でセットアップする(M)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする

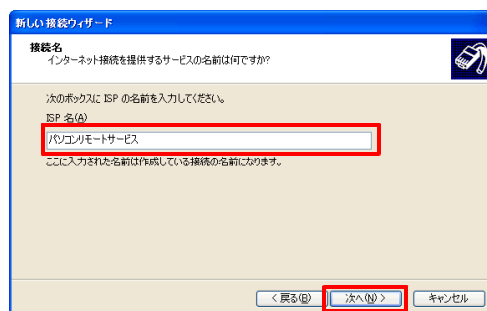


「インターネット接続 画面」の「ダイアルアップ モデムを使用して接続する(D)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする



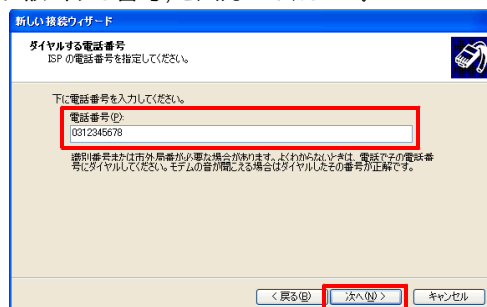
「接続名 画面」で接続先の名前を入力し、[次へ(N)>] をクリックする

適当にわかりやすい名前を付けてください。



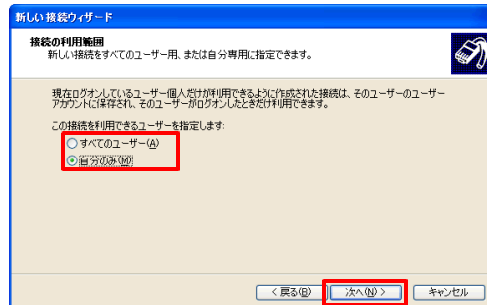
「ダイヤルする電話番号 画面」で接続先の電話番号を入力し、[次へ(N)>] をクリックする

パソコンリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。ダイアルアップWeb設定とパソコンリモートサービスのダイアルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号(コマンド *034で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号)を入力してください。



「接続の利用範囲 画面」で何れかの項目を選択し、[次へ(N)>] をクリックする

「自分のみ(M)」を選択すると、本登録を行ったユーザーでWindowsにログオン時のみ本接続を利用できます。



次頁へ続く

「インターネット アカウント情報 画面」で「この接続を既定のインターネット接続とする(M)」、「この接続のインターネット接続ファイアウォールをオンにする(T)」のチェックを外したあと、「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」、「パスワードの確認入力(C)」に「111111」を入力し、**次へ(N)>**をクリックする

「新しい接続ウィザードの完了 画面」となるので、完了するときは**完了**をクリックする

「この接続のショートカットをデスクトップに追加する(S)」にチェックを入れると、デスクトップのショートカットをクリックして設定した接続の画面を開くことができます。

「****へ接続 画面」(****は操作 で入力した接続名を表示)が開くので、**プロパティ(O)**をクリックする

「**** プロパティ 画面」(****は操作 で入力した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択し、「呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E)」で「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択し、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「Microsoft ネットワーク用クライアント」のチェックを外す

「**** プロパティ 画面」(****は操作 で入力した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択したままの状態、「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、**プロパティ(R)**をクリックする

「インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ 画面」で、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選択し、**OK**をクリックする

「**** プロパティ 画面」(****は操作 で入力した接続名を表示)に戻るので、**OK**をクリックする

次頁へ続く

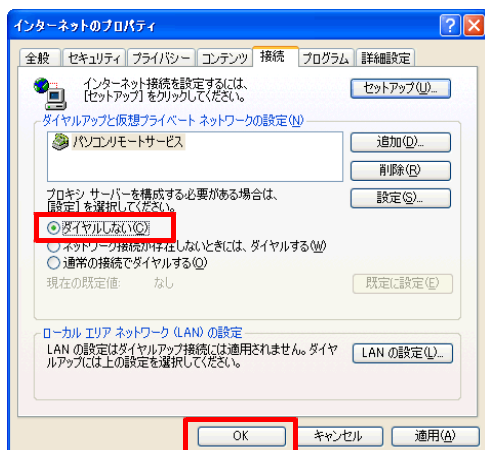
『****へ接続 画面』に戻るので、**キャンセル** をクリックする



[コントロール パネル(C)] から [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の [インターネット オプション] をクリックする (カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル(C)] から [インターネット オプション] をダブルクリックする (クラシック表示の場合)

『インターネットのプロパティ 画面』の [接続] タブを選択し、『ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定(N)』は『ダイヤルしない(C)』を選択し、**OK** をクリックする



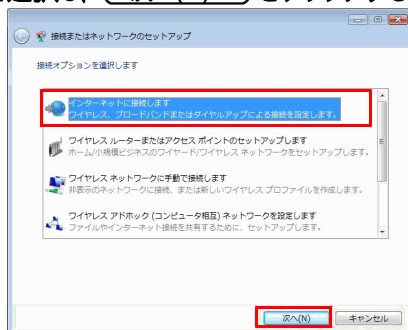
Windows Vista® の場合

[コントロール パネル]から[ネットワークの状態とタスク表示]をクリックする(コントロールパネル ホーム表示の場合)
[コントロール パネル]から[ネットワークと共有センター]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)

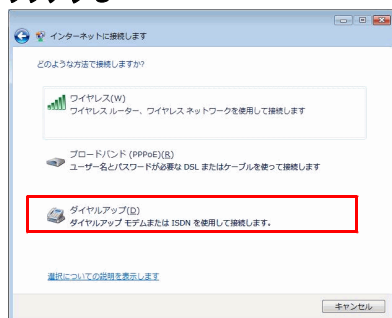
『ネットワークと共有センター 画面』の[タスク]の[接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする

『接続またはネットワークのセットアップ』が開く

『接続オプションを選択します 画面』の『インターネットに接続します』をクリックし、**次へ(N)>**をクリックする



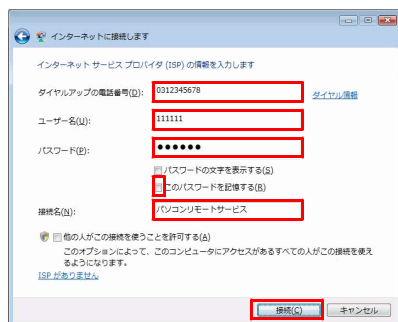
『どのような方法で接続しますか? 画面』の『ダイヤルアップ (D)』をクリックする



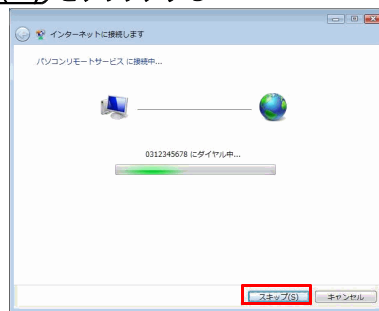
『インターネットサービスプロバイダ(ISP)の情報を入力します 画面』で『ダイヤルアップの電話番号 (D)』、『ユーザー名 (U)』、『パスワード (P)』、『接続名 (N)』を入力し、『このパスワードを記憶する(R)』にチェックを入れて**接続 (C)**をクリックする

『ユーザー名(U)』、『パスワード(P)』には、『11111』を入力してください。

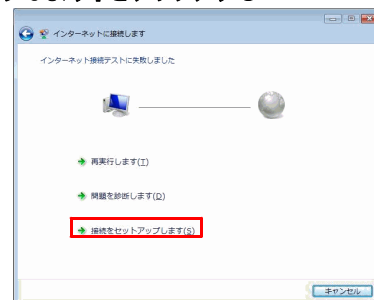
パソコンリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。
ダイヤルアップWeb設定とパソコンリモートサービスのダイヤルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号(コマンド *034で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号)を入力してください。



『パソコンリモートサービスに接続中 画面』が表示されるので**スキップ (S)**をクリックする



『インターネット接続テストに失敗しました 画面』で『接続をセットアップします』をクリックする



『インターネットへの接続を使用する準備ができました 画面』が表示されるので**閉じる (C)**をクリックする

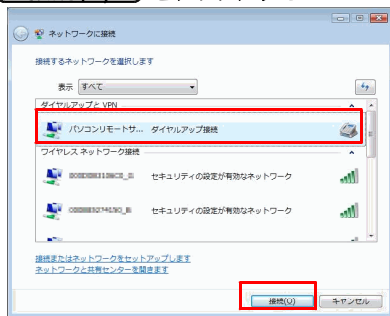


『ネットワークと共有センター 画面』の[ネットワークに接続]をクリックする

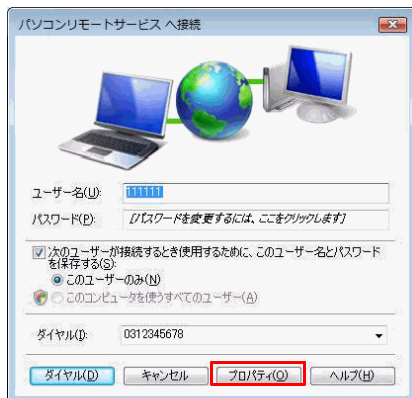


次頁へ続く

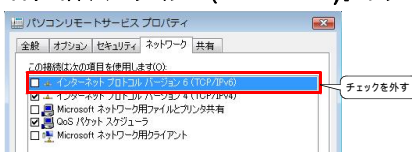
『ネットワークに接続 画面』の『接続するネットワーク選択』
『**** ダイアルアップ接続』(****は操作 で
選択し、**接続(C)** をクリックする



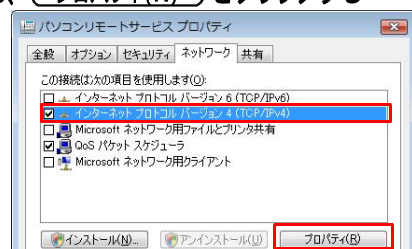
『****へ接続 画面』(****は操作 で入力した
接続名を表示)が開くので、**プロパティ(O)** をクリック
する



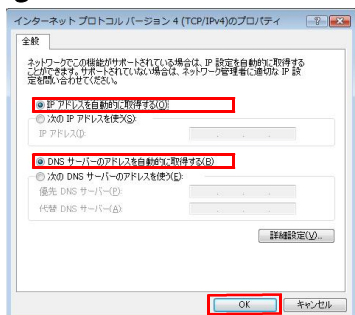
『**** プロパティ 画面』(****は操作 で入力
した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択し、『インタ
ーネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)』のチェックを外す



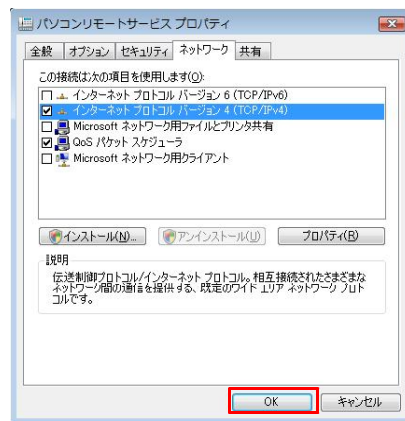
『**** プロパティ 画面』(****は操作 で入力
した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択したままの
状態で、『インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)』
を選択し、**プロパティ(R)** をクリックする



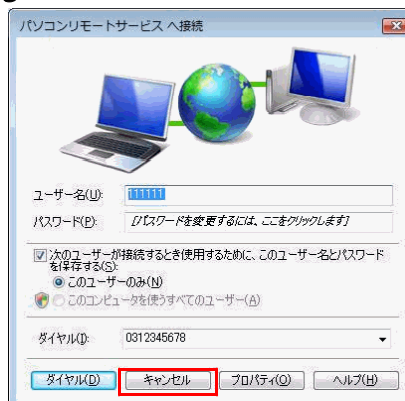
『インターネット プロトコル (TCP/IPv4)のプロパティ 画面』
で、『IP アドレスを自動的に取得する(O)』、『DNS サーバ
ーのアドレスを自動的に取得する(B)』を選択し、**OK**
をクリックする



『**** プロパティ 画面』(****は操作 で入力
した接続名を表示)に戻るので、**OK** をクリックす
る



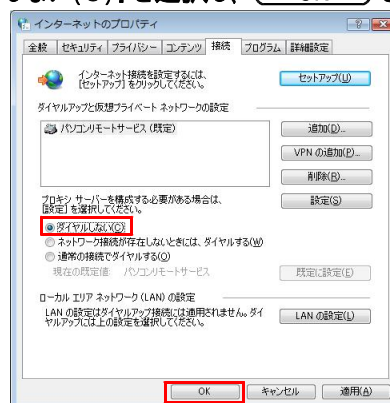
『****へ接続 画面』に戻るので、**キャンセル** をク
リックする



[コントロール パネル]から[ネットワークの状態とタスクの表
示]をクリックし、『ネットワークと共有センター 画面』の[イン
ターネット オプション]をクリックする(コントロールパネル
ホーム表示の場合)

[コントロール パネル]から[インターネット オプション]をダブル
クリックする(クラシック表示の場合)

『インターネットのプロパティ 画面』の[接続]タブを選択し、
『ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定(N)』は
『ダイヤルしない(C)』を選択し、**OK** をクリックする



Windows® 7 の場合

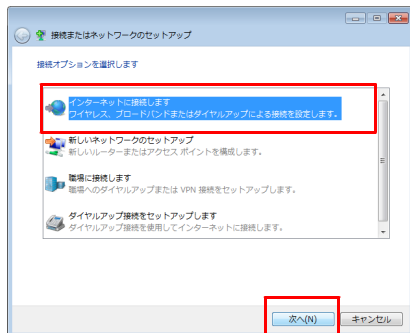
[コントロール パネル] から [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックする (カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル] から [ネットワークと共有センター] をクリックする (大きいアイコンまたは小さいアイコン表示の場合)

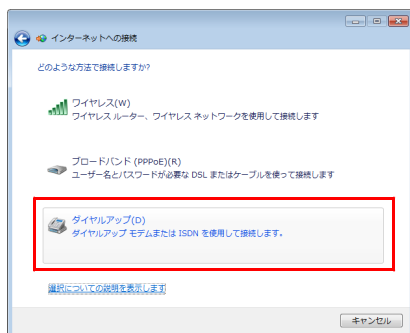
「ネットワークと共有センター 画面」の [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

「接続またはネットワークのセットアップ」が開く

「接続オプションを選択します 画面」の「インターネットに接続します」を選択し、**次へ(N)** をクリックする



「どのような方法で接続しますか? 画面」の「ダイヤルアップ(D)」をクリックする

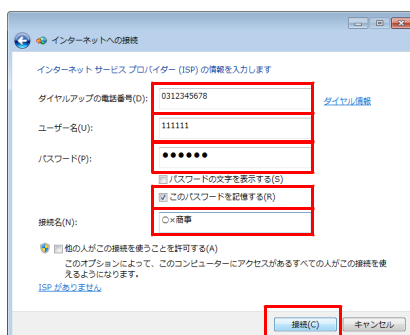


「インターネットサービス プロバイダー (ISP) の情報を入力します 画面」で「ダイヤルアップの電話番号(D)」、「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」、「接続名(N)」を入力し、「このパスワードを記憶する(R)」にチェックを入れて **接続(C)** をクリックする

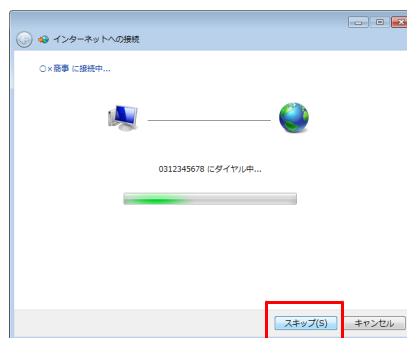
「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」には、「111111」を入力してください。

パソコリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。

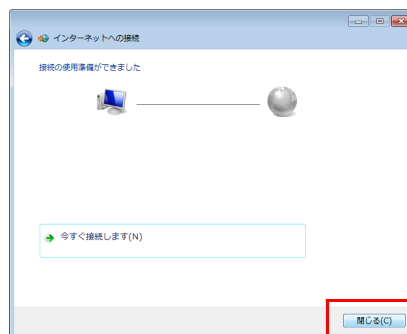
ダイヤルアップWeb設定とパソコリモートサービスのダイヤルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号 (コマンド *034 で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号) を入力してください。



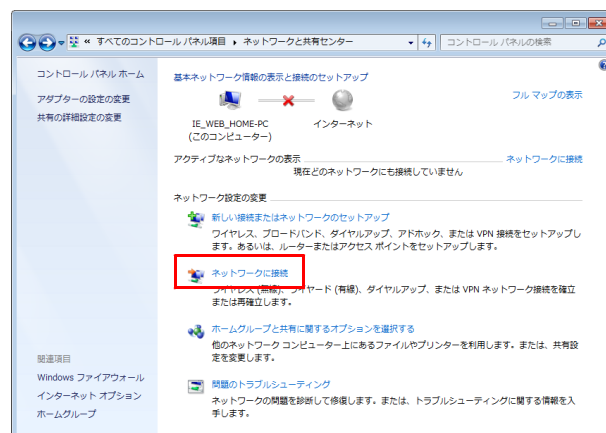
「****に接続中 画面」(****は操作 で入力した接続名を表示)が表示されるので **スキップ(S)** をクリックする



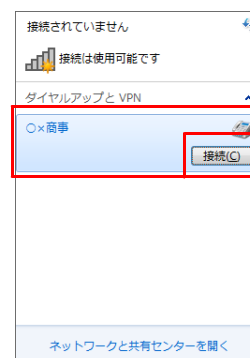
「接続の使用準備ができました 画面」が表示されるので **閉じる(C)** をクリックする



「ネットワークと共有センター 画面」の [ネットワークに接続] をクリックする



ネットワーク接続状態の画面が開くので、[ダイヤルアップとVPN]内の「****」(****は操作 で入力した接続名を表示)を選択し、**接続(C)** をクリックする



次頁へ続く

○×商事 へ接続

ユーザー名(U): 11111111

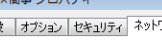
パスワード(P): パスワードを変更するには、ここをクリックします

☒ 次のユーザーが接続するとき使用するのために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):

- ☒ このユーザーのみ(N)
- ☐ このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)

ダイヤルID: 0312345678

ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(O) ヘルプ(H)



インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☒ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☐ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I):

☒ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☐ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P):

代替 DNS サーバー(A):

詳細設定(V)...

OK キャンセル

この接続は次の項目を使用します(O):

- ☐ インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)
- ☒ インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)
- ☐ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有
- ☐ Microsoft ネットワーク用クライアント

インストール(N)... アンインストール(U) プロパティ(R)

説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル 相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する。既定のワイルドエリア ネットワーク プロトコルです。

OK キャンセル

[illegible]

1 - 9 Q&A集

	質 問	回 答
1	本プログラムでアップロードまたは、ダウンロードを行うと、「コネクト失敗」のメッセージが表示される。	<p>*9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか。(「ポートオープン」に変更してください。)</p> <p>パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか。(同一セグメントにしてください)</p> <p>パソコンセキュリティソフト(例:ウイルスバスター等)が常駐していませんか。(ソフトを停止して実行してください)</p> <p>パソコンの「ファイアウォール」が有効になっていませんか。(無効にしてください)</p>
2	本プログラムで「主装置データアップロード」を選択すると「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出てアップロードできない。 また、「データ設定」「詳細設定」を選択すると、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。
3	本プログラムを使用して、主装置にデータ(短縮)登録ができない。 ダウンロード中画面が表示された後、0%の状態です。 「コネクト失敗」メッセージが出る。これを何回か繰り返すと、登録OKになる場合がある。	パソコンのLANドライバが古くありませんか。(最新のドライバに更新して、再度実施してください)
4	詳細設定等で、画面の「登録」ボタンを押した後に、入力データが画面に反映されない。	Internet Explorerの“インターネット一時ファイル” “設定” “保存しているページの新しいバージョンの確認”の設定が“ページを表示するごとに確認する”になっていませんか。(設定を変更してください)
5	主装置にデータをダウンロードしたところ、外線ボタンのランプが点灯しなくなった。 発信、着信は可能。	<p>「データ設定ファイル」と「ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル」の内容がアンマッチの場合に本現象となる場合があります。パソコン側のクッキー等の設定が正しくないとアンマッチのファイルができる可能性があります。</p> <p>Internet Explorerの“インターネット一時ファイル” “設定” “保存しているページの新しいバージョンの確認”の設定が“Webサイトを表示するたびに確認する”になっていませんか。(設定を変更してください)</p>
6	主装置に短縮データをダウンロードしたら、電話機の内線番号が消えてしまった。 または、内線番号や内線名称が変更されてしまった。	<p>短縮データをダウンロードする前に、「短縮データアップロード」(パソコンリモートサービスの場合は「リモート短縮アップロード」)を実施しましたか。実施していない場合、「内線電話帳をダウンロードする」のチェックボックスにチェックを入れダウンロードすると、内線電話帳が初期値で書き込まれてしまい、内線番号や内線名称が消えたり、変更されてしまいます。</p> <p>短縮データのダウンロードを行う際には、必ず「短縮データアップロード」(パソコンリモートサービスの場合は「リモート短縮アップロード」)を実施してから、ダウンロードしてください。</p> <p>また、内線電話帳のダウンロードが不要な場合は、「内線電話帳をダウンロードする」のチェックボックスにチェックを入れないでください。</p>
7	本プログラムからCSV形式でデータ保存後にEXCELでファイルを開いたら、電話番号の頭に「0」が付いていなかった。	<p>CSV形式のファイルをEXCELで読み込んだ場合、電話番号欄の頭の「0」は削除されます。この状態で保存してしまうと「0」は削除されたままとなります。CSV形式のファイルを上書き保存しないように、必ず、本プログラムからCSV形式で保存したファイルは、バックアップとして保管しておいてください。</p> <p>CSV形式のファイルを編集する場合は、「 EXCELを使用して電話帳データを作成、編集する場合 (3)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する場合」を参照してください。 P2-15参照</p>

	質 問	回 答
8	本プログラムのパソコンリモートサービスで「リモート主装置データアップロード」/「リモート主装置データダウンロード」/「リモート短縮データアップロード」/「リモート短縮データダウンロード」を選択したら、「市外局番が設定されていません。」とエラーメッセージが表示される。	「ユーザー情報設定」でユーザー電話番号を入力してください。登録する電話番号は、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線(ダイヤルアップWeb設定と兼用)に対応する電話番号またはダイヤルイン番号(*034で設定)を必ず設定してください。
9	夜間切替タイマを使用しているときに主装置にデータをダウンロードしたら、留守番のモードが切り替わってしまった。	夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに従って留守番モードに関するデータ設定(*394、*601、*680、*686)が変更されます。本プログラムでダウンロードする上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、ダウンロードしたデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。 ダウンロード終了後に主装置の電源をOFF/ONすることにより、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができますが、困難な場合は、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえでダウンロードを行ってください。

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

[1] 事前に設定ファイルを作成する場合

- ①プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ②「ファイル作成」を選択 ⇒P2-2参照
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
- ④PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル

【注】内線番号が初期から変更されている場合は、[4]の操作でファイル保存した内線電話帳ファイルを読み込んで、内線電話帳データを作成してください。

[2] 新規工事の場合(事前作成ファイルなし)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
- ⑤PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル
- ⑥「主装置データダウンロード」、または「短縮データダウンロード」を実行 ⇒P2-21参照

【注】内線番号が初期から変更されている場合は、[4]の操作でファイル保存した内線電話帳ファイルを読み込んで、内線電話帳データを作成してください。

[3] 新規工事の場合(事前作成ファイルあり)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④ファイル読み込み ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル
- ⑤「主装置データダウンロード」、または「短縮データダウンロード」を実行 ⇒P2-21参照

※事前作成の内容で変更が必要な場合は、④の後で「ユーザー情報設定」の変更、PCでの設定変更、ファイル保存を行ってください。

[4] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④「主装置データアップロード」、または「短縮データアップロード」を実行 ⇒P2-2参照
- ⑤ファイル保存*1 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル

[5] 設定変更の場合(データ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータの場合)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④「主装置データアップロード」を実行 ⇒P2-2参照

★必ず実行してください。

- ⑤「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
- ⑥PCでの変更*2、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル
- ⑦「主装置データダウンロード」を実行 ⇒P2-21参照

★④でアップロードしたデータと異なる種類のデータを間違えてダウンロードしないよう、注意してください。

[6] 設定変更の場合(短縮データの場合)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④「短縮データアップロード」を実行 ⇒P2-2参照

★必ず実行してください。

- ⑤「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
- ⑥PCでの変更*2、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - 電話帳ファイル
 - 内線電話帳ファイル
- ⑦「短縮データダウンロード」を実行 ⇒P2-21参照

★④でアップロードしたデータと異なる種類のデータを間違えてダウンロードしないよう、注意してください。

*1: 必要なものを保存してください。

*2: 主装置からアップロードしたデータを変更します。

2. プログラムの起動～主装置データアップロード／短縮データアップロード

●事前確認（工事・保守マニュアルを参照してください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（＊9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（＊9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

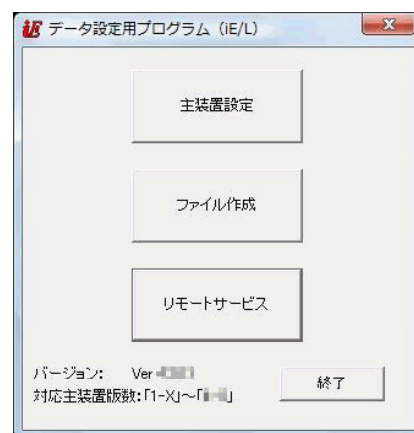
1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

●各ボタンの説明

主装置設定 …主装置に接続して、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのアップロードや変更、ダウンロードを行う。

ファイル作成 …主装置に接続せず、事前にデータ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。

リモートサービス …公衆回線経由で、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのリモートサービスを行う。（詳細は、第3部を参照）



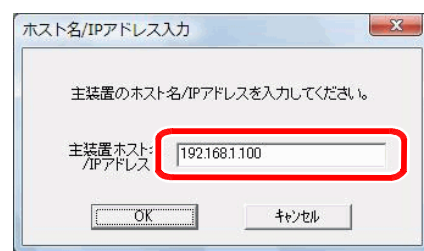
※以降の説明は、**主装置設定** を選択して主装置データのアップロードを行う場合を示します。**ファイル作成** を選択した場合は操作2は省略され、『工事者用メニュー画面』となります。また、操作4～操作10は不要です。

ただし、『工事者用メニュー画面』で **主装置データアップロード**、**短縮データアップロード**、**主装置データダウンロード**、**短縮データダウンロード** は選択できません。

2 『メイン画面』で **主装置設定** をクリックすると、『ホスト名/IPアドレス入力画面』となる。

接続されている主装置のIPアドレスを入力して **OK** をクリックする。
IPアドレスの入力は、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

※初期値は192. 168. 1. 100です。



※＊000のパスワードが変更されている場合(0000以外を設定している場合)には、以降の操作を必ず行ってください。パスワードを変更していない場合は、操作3～8は省略可能です。

3 『工事者用メニュー画面』が表示される。

データ設定 をクリックする。

●各ボタンの説明

ユーザー情報設定 …ユーザーの会社名や電話番号等の情報を登録します。（ファイルに登録情報を付加します。）

システムデータシート印刷 …パソコン上にあるデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データ、内線電話帳データをプリントアウトします。

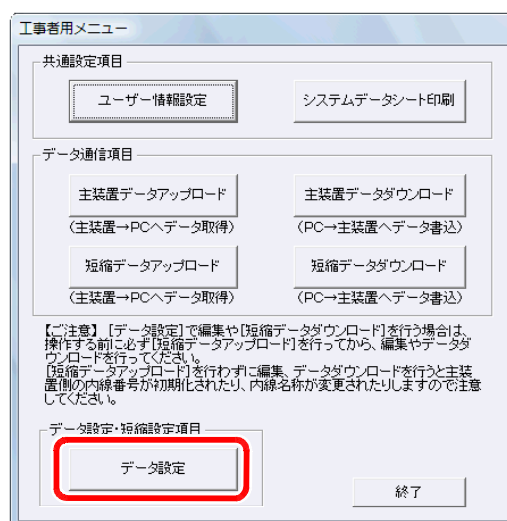
主装置データアップロード …主装置側のデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータをパソコン側にアップロードします。

短縮データアップロード …主装置側の電話帳および内線電話帳データをパソコン側にアップロードします。

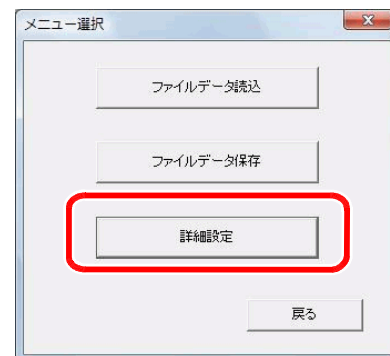
主装置データダウンロード …パソコン側のデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータを主装置側にダウンロードします。

短縮データダウンロード …パソコン側の電話帳および内線電話帳データを主装置側にダウンロードします。

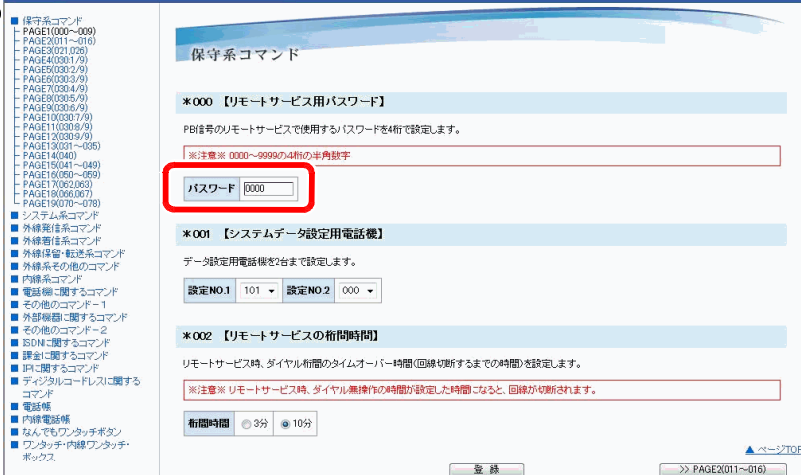
データ設定 …パソコン上でデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データ、内線電話帳データの変更、ファイル保存、ファイル読込を行います。



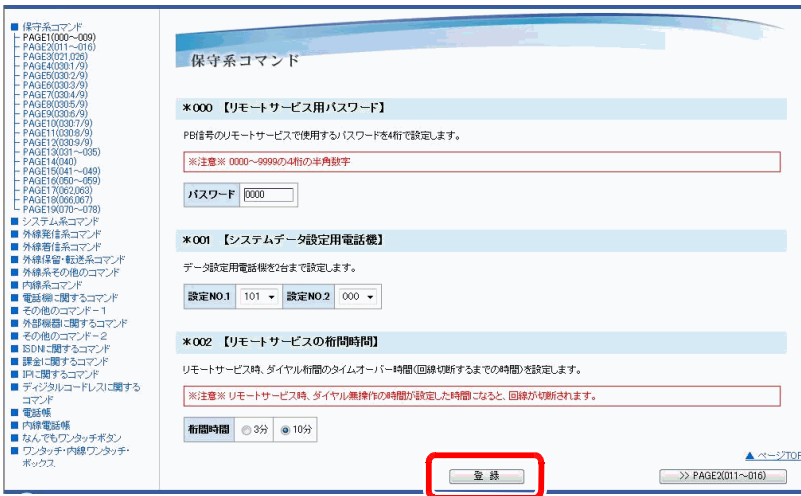
4 『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックする。



5 「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示される。
『保守系コマンド画面』で *000 のパスワードを入力する。

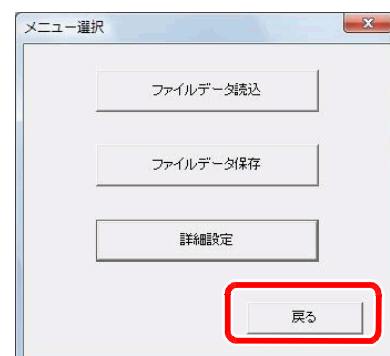


6 画面一番下の **登録** をクリックする。



7 設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する
※「Internet Explorer」を閉じてても設定内容は、消えません。

8 『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



『工事者用メニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

主装置データアップロード … 主装置側のデータ設定内容（ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む）をパソコン側にアップロードするとき

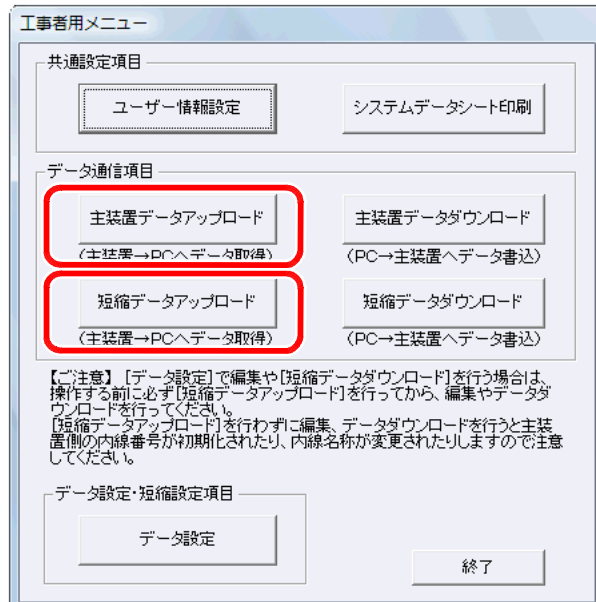
短縮データアップロード … 主装置側の電話帳および内線電話帳のデータをパソコン側にアップロードするとき

★主装置側のデータ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番でアップロードしてください。「主装置データアップロード」を先に行うと、ワンタッチダイヤルが反映されません。

①短縮データアップロード

②主装置データアップロード

★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳、内線電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「主装置データアップロード」や「短縮データアップロード」を先に行ってください。



『主装置データアップロード確認画面』または『短縮データアップロード確認画面』が表示される。これからアップロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

★短縮データをアップロードしようとして「主装置データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データ以外の設定内容が変更されますので注意してください。

★データ設定をアップロードしようとして「短縮データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データが変更されますので注意してください。

※ **キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。

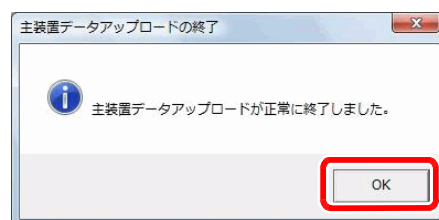
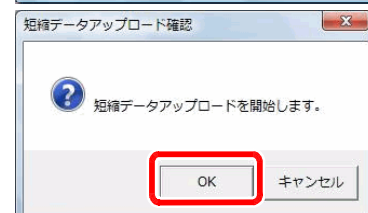
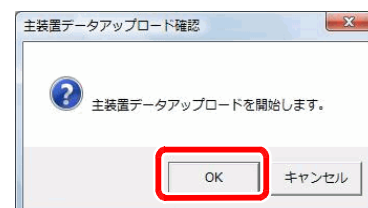
※アップロードを開始すると『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータにアップロードの進行状況が表示されます。

アップロードが完了すると『主装置データアップロードの終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

（「主装置データアップロード」の例）

※「短縮データアップロード」の場合は、『短縮データアップロードの終了画面』が表示されます。

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



ご注意

★アップロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。（特に、「デフラグ（ディスクの最適化）」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。）

★アップロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、アップロードをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面（「ポートステータスチェックエラー発生」、「受信タイムアウトエラー発生」や「通信エラー発生」）の **OK** をクリックし、『メイン画面』（P2-2参照）まで戻ってからアップロードをやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

3. ユーザー情報設定

本設定を行っておくと、データ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳、内線電話帳のファイルに、お客様の会社名や電話番号等の情報も保存することができます。

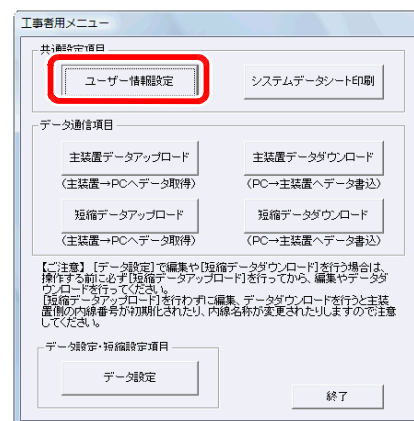
◆以前に保存したファイルを読み込むと、『ユーザー情報設定画面』で設定した情報が表示されます。

◆パソコンリモートサービス(第3部参照)も行う主装置の場合は、「ユーザー電話番号」欄に、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線(ダイヤルアップWeb設定と兼用)に対応する電話番号またはダイヤルイン番号(コマンド*034で設定)を必ず設定してください。(「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に自動的に発信します。)

★ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド*034に対応した電話番号以外を入力することも可能です。(*034、*035の設定も不要)

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で **ユーザー情報設定** をクリックする。



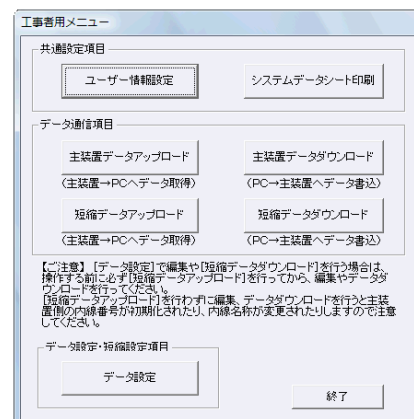
2 必要事項を入力し、**登録** をクリックする。

各欄は下記の範囲内で入力してください。
お客様の名前や電話番号等の情報を入力しておきます。
(データ設定内容には影響しません。)

- ユーザー名: 全角12文字(半角24文字)まで
お客様の会社名等を入力してください。
- 担当者名: 全角12文字(半角24文字)まで
ユーザーが会社等で担当の方がいる場合は、担当の方の名前等を入力してください。
- 電話番号: 半角数字
パソコンリモートサービスも行う場合は、PCリモート用の電話番号を入力してください。
★ISDN外線同士のPCリモートを行う場合は、下記登録でも可能
電話番号(コマンド*034以外も可)+*(注)+PCリモート用サブアドレス5桁(0+コマンド*000のパスワード)
- 設置年月日: 全角12文字(半角24文字)まで
- 設置メモ: 全角36文字(半角72文字)まで
改行も全角1文字とみなします。

(注) * はサブアドレスの区切りです。接続するTAの仕様に従ってください。

3 『工事者用メニュー画面』に戻る。

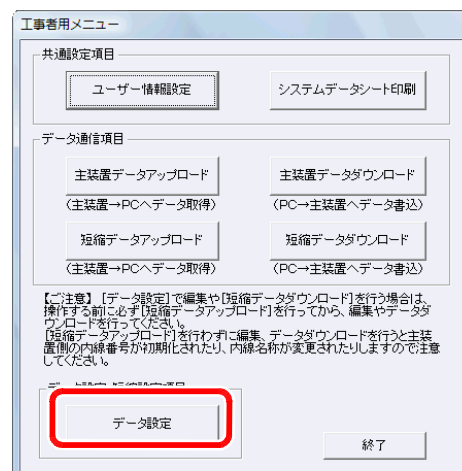


4. データ設定

データ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳、内線電話帳のファイル設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で **データ設定** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

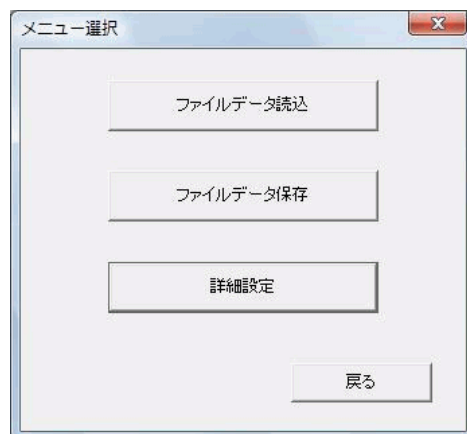
●各ボタンの説明

ファイルデータ読込 … 事前設定またはバックアップしたデータ設定や電話帳データ等の設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 … パソコン上にあるデータ設定や電話帳データ等をファイル保存します。⇒P2-10参照

詳細設定 … パソコン上でデータ設定や電話帳等を変更します。

戻る … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。

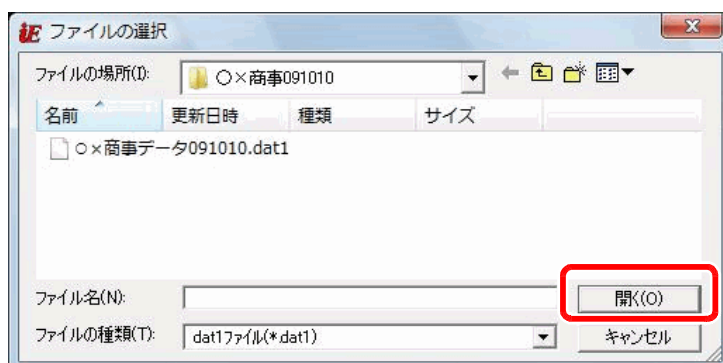
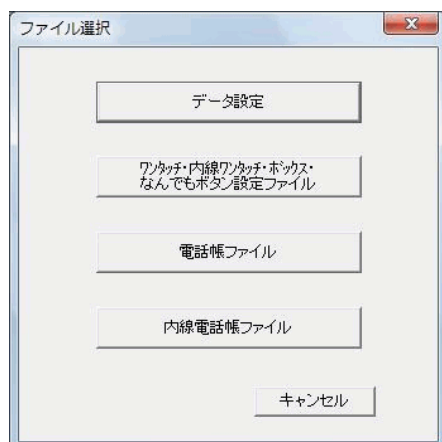


★既に作成済のファイルを修正するときは、「詳細設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

① 『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックします。

② 『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択します。

③ 読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



★「ファイルデータ読込」を行う場合は、下記の順番で各データを読み込んでください。読込の順番が正しくないと「ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチボタン・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン」の設定が反映されない場合があります。

- ① データ設定
- ② 電話帳ファイル
- ③ 内線電話帳ファイル
- ④ ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル

3 操作2の『メニュー選択画面』で **【詳細設定】** をクリックすると、「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示される。

- 各ページを開くと、現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 下記に設定用のWeb画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。
- 下記の画面は概略の説明用です。表示内容は実際と多少異なる場合があります。

各コマンド区分毎に、コマンド番号順に分類されています。

●コマンド区分をクリックすると、ページ一覧およびコマンド番号が表示されます。

該当するページをクリックし、各設定を行います。

●現在表示しているページは色を変えて表示します。

外線系その他のコマンド

*610 【転送電話の転送先呼出時間】

転送電話の一回の呼出時間を設定します。(設定単位は10秒毎です。)

転送先呼出時間

☐ 20秒 ☐ 30秒 ☐ 40秒 ☒ 50秒 ☐ 60秒

☐ 70秒 ☐ 80秒 ☐ 90秒 ☐ 100秒

*611 【転送電話通話時間】

転送電話の通話成立後、強制切断までの通話時間を設定します。

転送電話通話時間

☐ 10分 ☐ 20分 ☒ 30分 ☐ 40分 ☐ 50分

☐ 60分 ☐ 70分 ☐ 80分 ☐ 90分 ☐ 100分

☐ 110分 ☐ 120分 ☐ 130分 ☐ 140分 ☐ 150分

*612 【転送電話の発信外線の種類】

転送電話の発信用外線を、システム全体から選択するか、着信外線と同一テナント内から選択するかを設定します。

発信外線

☐ システム ☒ 同一テナント

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

▲ ページTOP

PAGE1(600~609) << 登録 >> PAGE3(6141/3)

現在表示しているコマンド区分の前ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているコマンド区分の次ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

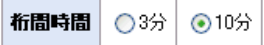
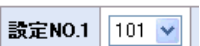
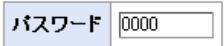

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

ご注意

- ★「データ設定アプリ用ポート設定」(*9403)を「ポートクローズ」(0)に変更してデータをダウンロードすると、以降は主装置データのアップロードやダウンロードができなくなりますので、注意してください。
- ★同じ値を複数箇所に重複設定できないデータ設定コマンド(例: *030、*081、*082、*084、等)にて、重複設定した場合、電話機からの登録と異なり、最後に入力したデータが必ずしも有効にはなりません。また、設定範囲外のデータを入力可能な場合があります。 **登録** をクリックすると更新結果が表示されますので、間違いがないか確認してください。

必要な項目を設定する

- 「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の各コマンド説明を見ながら設定を行ってください。
- 下記に示す4種類の入力方法(表示のみを含む)があります。

種 類	表 示 例	操 作 方 法
ラジオボタン		設定する項目をクリックします。
リストボックス		プルダウン表示される候補を選択します。
エディットボックス		直接入力します。設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、電話機からのデータ設定と異なりエラー表示しません。必ずデータ設定マニュアルを参照して有効な値を入力してください。
表示のみ		モニタのみ可能で入力できません。

- 主装置のシステムデータ設定以外に、電話帳、内線電話帳、なんでもワンタッチボタン、ワンタッチボタン、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタンの設定を行うことができます。詳細説明は次ページを参照してください。

①電話帳、内線電話帳:

電話機からの登録と同様に、電話帳は電話番号・名前・ヨミガナを入力、内線電話帳は内線名称・ヨミガナを入力します。

一部の記号を電話番号欄に入力できます。詳細は取扱説明書の「電話帳を登録する」を参照してください。

電話帳の用途欄は、共通電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ) / 1~7(iE/MLタイプ)」を、マイ電話帳の場合は電話機の收容位置(3桁)を入力します。また、共通電話帳は、リストボックスで短縮グループ、外線グループも選択します。

★複数の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合、「登録」をクリックすると「短縮番号〇〇〇〇番と△△△△番が重複して登録されています。」のエラー画面が表示されますが、エラー画面の「OK」をクリックすれば、重複して入力されている電話番号は短縮番号に登録されます。電話番号を重複して登録する必要がない場合は、どちらかの短縮番号を削除し再登録してください。

●用途欄が同一範囲内で電話番号の重複チェックを行います。

●3つ以上の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合は、若番側から2つの短縮番号がエラー画面に表示されます。

★電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク(📱)が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

★用途欄が共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ) / 1~7(iE/MLタイプ)」以外の場合、または收容位置(3桁)以外の場合、「登録」をクリックするとエラーとなり入力が反映されません。

②なんでもワンタッチボタン:

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機からのみ登録可能なボタンが既に登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン(右下の表に示す項目を含む)のみ登録が可能です。

なんでもワンタッチ ボタン登録操作	なんでも1	
	現在の登録	新しい登録
1	登録なし	登録なし
2	登録なし	登録なし
3	登録なし	登録なし
4	登録なし	登録なし

登録するボタンをプルダウンで表示されるものから選択します。

現在の登録内容を表示します。

ボタン以外の項目	備 考
登録なし	操作を登録しません。「登録なし」を登録した箇所以降の操作は無視されます。
変更不可	現在の登録のままとします。

③ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタン:

現在の登録内容が別枠で表示されます(プログラマブルキーとして登録してあるボタンを含む)。

リストボックスに表示される機能(下表参照)を選択し、設定値を入力します。

現在の登録内容を表示します。

	現在の登録	機能選択	設定値
KEY01:	外線01	変更なし	01
KEY02:	外線02	変更なし	02
KEY10:	機能なし	ボックス	101

登録するボタンの種類をプルダウンで表示されるものから選択します。

各ボタンに登録する設定値を入力します。

機能選択	設定値	備 考
変更なし	—	現在の登録内容のままとするときに選択します。
クリア	—	現在の登録を消去します。 プログラマブルキーが登録されているときも消去されますので、注意してください。
ワンタッチ	短縮番号(4桁)	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。 電話帳に電話番号が登録されていない短縮番号を入力した場合、「登録」をクリックしても入力が反映されません。
内線ワンタッチ	電話機收容位置(3桁)	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。 電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「收容位置」を入力します。
ボックス	電話機收容位置(3桁)	内線ボックスボタンを登録します。 電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「收容位置」を入力します。

※1. 短縮ダイヤル発信時に押す短縮ダイヤル番号の桁数を電話機毎に1~3桁に変更することもできますが、ワンタッチダイヤルボタンは電話帳に登録した4桁の短縮番号を登録します。

※2. 「内線ワンタッチボタン」は、内線番号のみサポートしています。

「内線一斉呼出」や「外部スピーカ呼出」等の特番を「内線ワンタッチボタン」に登録する場合は、電話機から行ってください。

※3. 留守番代行ボックスを登録する場合は、電話機から行ってください。

5

表示しているページ内の設定が完了したら画面一番下の **登録** をクリックする

外部機器に関するコマンド

***9222 【外部スピーカ、高音量ベルの鳴動対象電話機収容位置】**

外部スピーカ、高音量ベルの鳴動を、どの電話機の鳴動に連動させるかを設定します。

鳴動機器	外部スピーカ	高音量ベル1	高音量ベル2	高音量ベル3	高音量ベル4
対象電話機	000	000	000	000	000

***9223 【外部スピーカ、高音量ベルの鳴動範囲】**

外部スピーカ、高音量ベルの鳴動範囲を、外線着信のみとするか内線(ドアホン着信を含む)+外線着信とするかを設定します。

鳴動機器	外部スピーカ	高音量ベル1	高音量ベル2	高音量ベル3	高音量ベル4
鳴動範囲	外線	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	内線+外線	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

***9224 【外部スピーカの鳴動音の選択】**

外線着信時の外部スピーカの鳴動音を設定します。

外部スピーカ鳴動音 ☒ A ☐ B ☐ 保留音 ☐ 外部音源(EXU)

登録

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

6

全ての設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する

※「Internet Explorer」を閉じてても設定内容は、消えません。

7

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

メニュー選択

ファイルデータ読込

ファイルデータ保存

詳細設定

戻る

8

『ファイル選択画面』となるので、保存したいファイルの種類を選択し、クリックする。

●各ボタンの説明

データ設定 … Web画面で設定したデータ設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約300KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約1.0MB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約2.0MB

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル … Web画面で設定したワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタンの設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約100KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約250KB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約500KB

電話帳ファイル … Web画面で設定した電話帳の設定内容をファイル保存します。

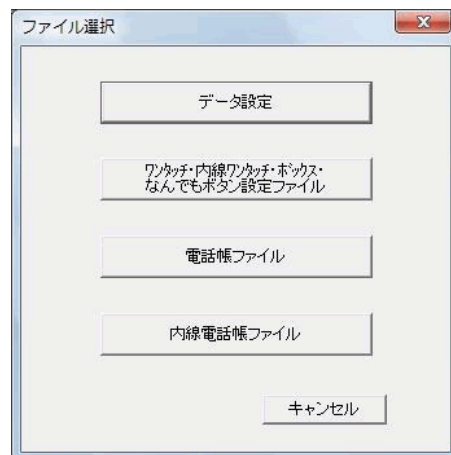
★保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約800KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約800KB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約800KB
(メモリ数=10000件のとき)

内線電話帳ファイル … Web画面で設定した内線電話帳の設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約10KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約10KB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約10KB



9

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

※お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

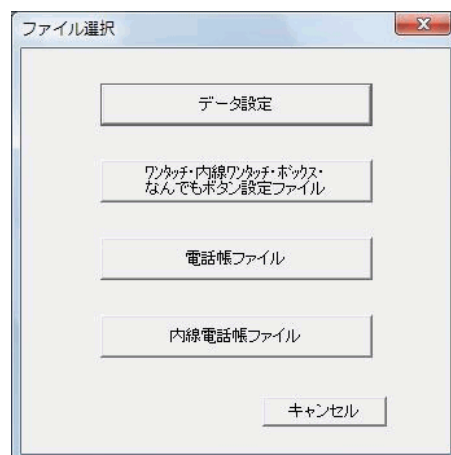
※データ設定(.dat1)、ワンタッチダイヤルボタン等(.dat2)、電話帳(.dat3)、内線電話帳(.dat4)と各ファイルは別々の拡張子として保存されます。



10

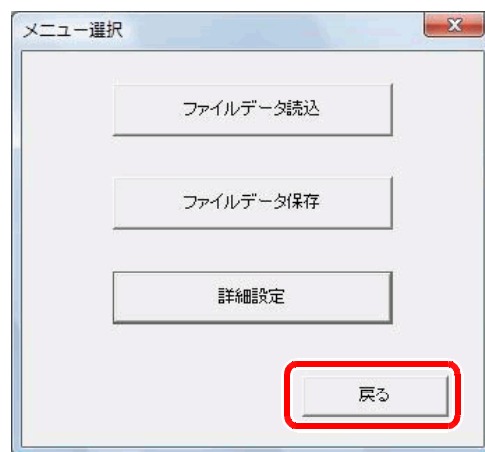
『ファイル選択画面』に戻る。

保存したいファイルが他にあれば操作8～操作9を繰り返し、保存するファイルがなければ、**キャンセル** をクリックする。



11

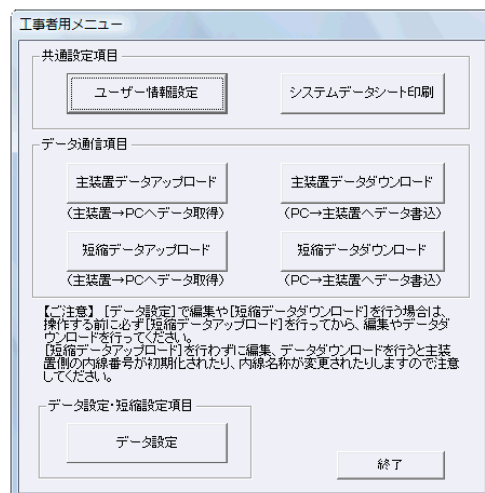
『メニュー選択画面』となるので、**戻る** をクリックする。



12

『工事者用メニュー画面』に戻る。

- 設定したデータを主装置にダウンロードする場合は…
P2-21を参照してください。
- 設定したデータを印刷する場合は…
P2-17を参照してください。



●EXCELを使用して電話帳データを作成、編集する場合

EXCELを使用して電話帳、内線電話帳データを作成または、本プログラムで作成した電話帳、内線電話帳データを編集する場合、CSV形式のファイルを使用することで、作成または編集が可能となります。

(1)EXCELで電話帳ファイルを作成する

EXCELを使用して電話帳データを作成し、CSV形式で保存することにより、本プログラムでファイルを読み込むことができます。

※EXCELの使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成する。
(全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず0000から入力 →

	A	B	C	D	E	F	G
1	短縮番号	電話番号	名前	ヨミガナ	用途	短縮G	外線G
2	0000	0312345678	東京本社	トウキョウホンシャ	1	1	1
3	0001	0612345678	大阪支社	オオサカシヤ	1	1	2
4	0002	0521234567	名古屋支店	ナゴヤシテン	1	1	2
5	0003	09011111111	鈴木携帯	スズキケイタイ	101	2	3
6	0004	09022222222	斉藤携帯	サイトウケイタイ	102	2	3
7	0005	09033333333	佐藤携帯	サトウケイタイ	101	2	3
8	0006	0451234567	青木商事	アオキショウジ	1	4	1
9	0007	045123567	佐々木工業	ササキコウギョウ	1	4	1
10	0008	09044444444	中島携帯	ナカジマケイタイ	1	4	3

- 1行目: 短縮番号、電話番号、名前、ヨミガナ、用途、短縮グループ番号、外線発信グループ番号の文字(全て全角)を上記の順番通りに入力します。

- 短縮番号: 0000からの連番を半角数字で入力します。

データを入力した行は、必ず入力してください。全ての短縮番号を入力する必要はありません。(先頭の0000は必須)

- 電話番号: 電話番号を入力します。半角数字24文字まで。

- 名前: 相手名称をスペースを入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

- ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角20文字まで。

- 用途: 共通電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ)／1～7(iE/MLタイプ)」を、マイ電話帳の場合は電話機の収容位置(3桁)を半角数字で入力します。

- 短縮グループ番号: 短縮グループ番号01～15を半角数字で入力します。

- 外線グループ番号: 0(指定なし)および外線グループ番号1～6を半角数字で入力します。

★名前・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データ等)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目にて指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

★用途欄が共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ)／1～7(iE/MLタイプ)」以外の場合、または収容位置(3桁)以外が入力されている場合、ファイルデータ読込の際に、用途欄を自動的に「1」(共通電話帳)として読み込みます。

②作成が済んだら、CSV形式で保存する。

※CSV形式の他、EXCELの通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。

CSV形式のファイルを読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「電話帳データ」で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号欄の先頭に「0」が入っていることを確認してください。)

(2) EXCELで内線電話帳ファイルを作成する

EXCELを使用して内線電話帳データを作成し、CSV形式で保存することにより、本プログラムでファイルを読み込むことができます。

※EXCELの使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで内線番号一覧を作成する。
(全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず101を入力 →

	A	B	C	D
1	収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
2	101	101	高橋	タカハシ
3	102	102	佐藤	サトウ
4	103	103	青木	アオキ
5	104	104	田中	タナカ
6	105	105	庄司	ショウジ
7	106	106	木村	キムラ
8	107	107	伊藤	イトウ

●1行目: 収容位置、内線番号、内線名称、ヨミガナの文字(全て全角)を上記の順番通りに入力します。

●収容位置: 101からの連番を半角数字で入力します。

データを入力した行は、必ず入力してください。全ての収容位置を入力する必要はありません。(先頭の101は必須)

●内線番号: 内線番号を入力します。半角数字1~4桁(*080の設定に従う)。

●内線名称: 内線名称をスペースを入れずに入力します。全角5文字(半角10文字)まで。

●ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角10文字まで。

★内線名称・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目にて指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

★内線番号の項目にて*080の設定と異なる桁数の内線番号を入力している場合、内線番号を本プログラムで取得することはできませんので注意してください。また、同じ内線番号を複数入力しないでください。

- ②作成が済んだら、CSV形式で保存する。

※CSV形式の他、EXCELの通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。

CSV形式のファイルをEXCELで読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

- ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「電話帳データ」で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。

(3) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する場合

本プログラムで作成した電話帳、内線電話帳データを編集する場合、CSV形式でファイルを保存することでEXCELを使用して編集することが可能です。

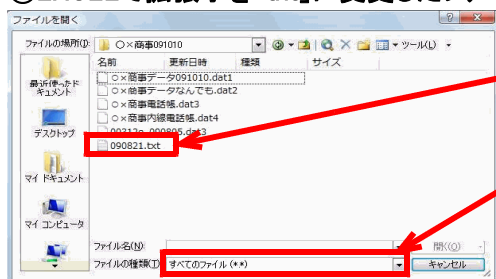
EXCELでCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集が出来なくなります。

下記の操作で拡張子の変更を行ってください。

① エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「〇×商事電話帳.csv」を名前の変更で、「〇×商事.txt」に変更する。)

② EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。(必ず、EXCELの操作でファイルを開いてください。)

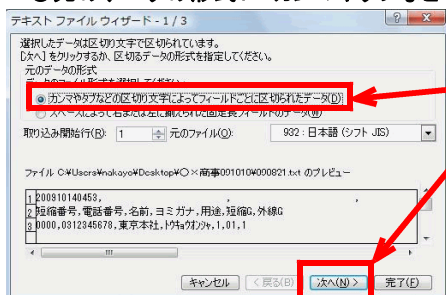


操作2: 開きたいtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

操作1: すべてのファイル(*.*)に変更する

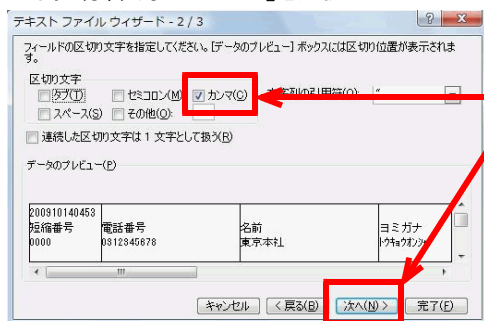
③ 画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式: 「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



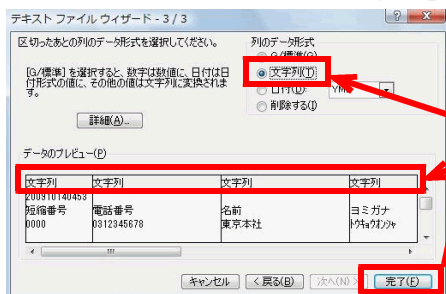
「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「カンマ」を選択します。



「カンマ(C)」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: 全てのデータ項目を「文字列」にします。



全ての列を文字列に変更し、「完了(F)」をクリックする

④ **完了(F)** をクリックし、ファイルが開いたら上記(1)または(2)に従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。上記(1)または(2)の

①に示すフォーマットでないと、本プログラムでCSVファイルを読み込むことができません。

(4) iZシリーズ、iAシリーズの電話帳データをiEシリーズの電話帳データに変換する方法

iZシリーズやiAシリーズのパソコンデータ設定用プログラムの電話帳データと本プログラムの電話帳データはフォーマット形式が異なります。iZシリーズやiAシリーズからiEシリーズの主装置に交換する際に、既存の電話帳データをiEシリーズの主装置に移す場合は、下記の手順で電話帳データを変換して移してください。

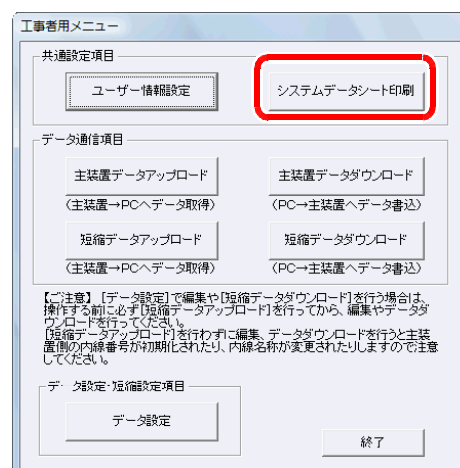
電話帳データ変換手順(例:iAシリーズからiEシリーズの電話帳データへの変換)

- ①iAシリーズのパソコンデータ設定用プログラムを使用し、iA主装置の電話帳データを読み込む。
- ②iAシリーズのパソコンデータ設定用プログラムで電話帳ファイルを保存する際に、CSV形式で保存する。
(ファイルの種類を「CSVファイル(*.csv)」を選択して保存)
※保存したCSV形式の電話帳ファイルは、バックアップしておくことをお勧めします。
- ③エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。
(例:「〇×商事電話帳.csv」を名前の変更で、「〇×商事.txt」に変更する。)
- ④EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。(必ず、EXCELの操作でファイルを開いてください。)
詳細は、「(3)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する場合」を参照してください。
- ⑤EXCELを使用し、iEシリーズ用のフォーマット形式に修正する。
詳細は、「(1)EXCELで電話帳ファイルを作成する」を参照してください。
- ⑥EXCELで電話帳ファイルを作成後にCSV形式で保存する。
- ⑦本プログラムを使用し、保存したCSV形式ファイルを読み込む。

5. システムデータシート印刷

パソコンに接続したプリンタでデータ設定や短縮の設定内容を印刷できます。
下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で **システムデータシート印刷** をクリックする。



2 『システムデータシート印刷選択画面』となるので、印刷したい内容のボタンをクリックする。

●各ボタンの説明

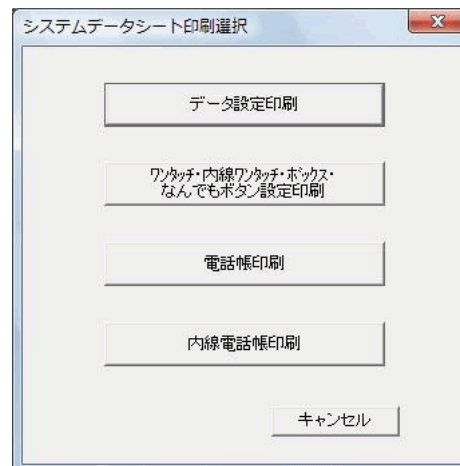
データ設定印刷 … パソコン上にあるデータ設定内容を印刷します。

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定印刷 … パソコン上にあるワンタッチダイヤルボタン等の登録内容を印刷します。
(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタンの登録内容の後に、なんでもワンタッチボタンの登録内容を印刷します。)

電話帳印刷 … パソコン上にある電話帳データを印刷します。

内線電話帳印刷 … パソコン上にある内線電話帳データを印刷します。

キャンセル … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



3 『印刷種別選択画面』となります。

●各ボタンの説明

プレビュー表示 … 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。
(詳細はP2-18参照)

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

ダイアログ表示 … プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(詳細はP2-19参照)

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

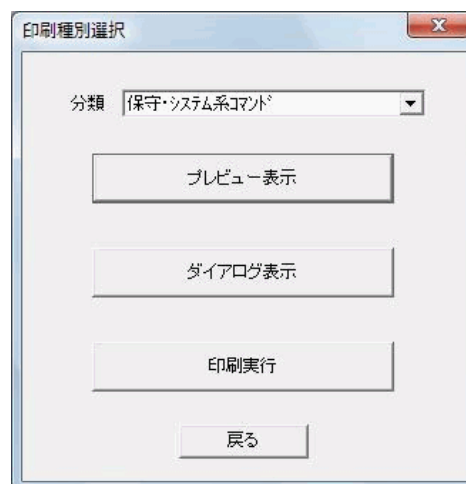
印刷実行 … 印刷を実行します。

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

戻る … 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



※「分類」欄は、「データ設定用プログラム (IE/L)」で「データ設定印刷」を選択したときのみ表示されます。
プルダウンメニューから印刷したいコマンド分類を選択してから各ボタンをクリックしてください。

※以降のページでは、**プレビュー表示** を選択した場合と **ダイアログ表示** を選択した場合とに分けて説明します。
(**印刷実行** を選択した場合は、説明を省略します。)

■ プレビュー表示 を選択した場合

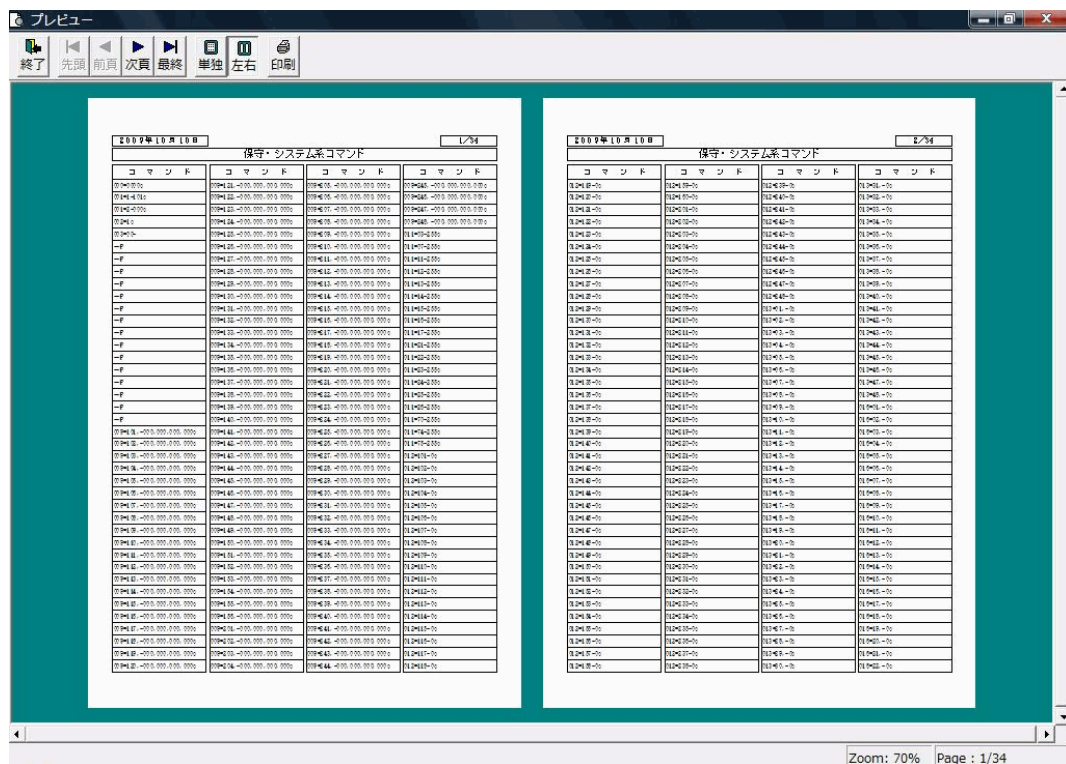
4

『印刷種別選択画面』で **プレビュー表示** をクリックすると、『プレビュー画面』となる。

※プレビュー画面上で左クリックすると拡大表示、右クリックすると縮小表示することができます。

(下の画面は、左右に2ページ表示を行い、縮小表示した例を示しています。)

※パソコンの能力によっても異なりますが、各ボタンの操作ができるまで、しばらく時間がかかります。



●各ボタンの説明



… プレビューを終了します。



… 1ページ毎に表示します。



… 左右に2ページ表示を行います。



… 印刷を行います。(『印刷画面』を表示)



… 先頭のページを表示します。



… 前ページを表示します。



… 次ページを表示します。



… 最終のページを表示します。

5

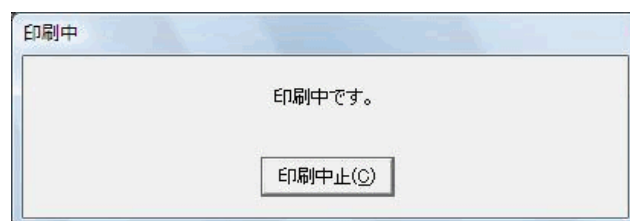
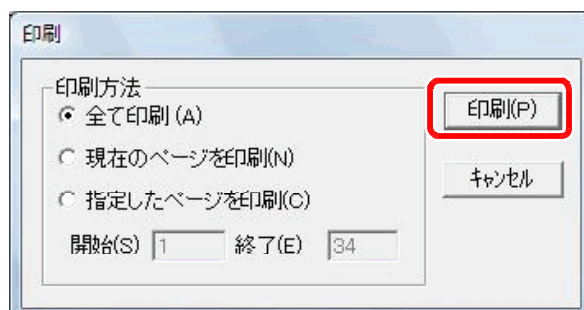
『プレビュー画面』の **印刷** をクリックすると、『印刷画面』となるので、印刷方法を選択し **印刷(P)** をクリックする。

印刷を行わないときは、**キャンセル** をクリックしてください。

★「現在のページを印刷(N)」を選択した場合、プレビュー画面で2ページ表示をしていますが、左側に表示されているページのみ印刷されます。

『印刷中画面』が表示されます。

印刷が終了したら、『プレビュー画面』の **終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。



■ ダイアログ表示 を選択した場合

4

『印刷種別選択画面』で **ダイアログ表示** をクリックすると、『プリンタ選択画面』となる。

プリンタ選択

プリンタ
プリンタ(P): [プリンタ名] プロパティ(S)

状態: 準備完了
種類: [プリンタ種類]
出力先: LPT1: ☐ 出力用紙指定(O)

用紙(A): A4 210 x 297 mm ☐ 用紙フィット(J)
給紙(B): 自動選択 ☐ 任意倍率(K) (L): 100

印刷方向: ☒ 縦印刷(C) ☐ 横印刷(D)
縮小拡大: ☒ ON(E) ☐ OFF(F) ☐ マルチ印刷(M)
位置合わせ: ☒ 左上(G) ☐ 中央(H) ☐ 中央線(I) ☐ 縦方向(N) ☐ 横方向(O)

※位置合わせの「中央線」はマルチ印刷時のみ有効です。

OK キャンセル

注: 画面表示はプリンタによって若干異なります。

●各フィールドの説明

- **プリンタ(P)**… 印刷に使うプリンタを選択します。(複数のプリンタが使用可能なとき)
- **部数(N)**… 印刷部数を指定します。
- **出力用紙指定(O)**… 出力方法を変更するときを使用します。チェックを入れると **プロパティ(S)** が有効になりますので、プリンタのプロパティが設定可能になります。
※プリンタのプロパティでマルチ印刷(2ページ分の割付等)を行う場合も、本画面で印刷方向や縮小拡大(用紙フィット)の設定等が必要になります。どのように印刷されるか、ページ数の少ない「内線電話帳印刷」で事前に試してください。
- **給紙(B)**… プリンタで複数の給紙方法が可能なときに選択できます。
- **マルチ印刷(M)**… 「出力用紙指定(O)」にチェックを入れたときに有効です。通常は1枚に1ページ分を印刷しますが、マルチ印刷を指定すると、1枚に2ページ分を印刷します。

＜参考＞

マルチ印刷で1枚に2ページ分を印刷するときは、下記の設定をしてください。

- 「出力用紙指定(O)」をチェック
- マルチ印刷(M): 「横方向(O)」
- 印刷方向: 「横印刷(D)」
- 縮小拡大: 「ON(E)」
- 位置合わせ: 「左上(G)」
- 「用紙フィット(J)」を指定

プリンタ選択

プリンタ
プリンタ(P): [プリンタ名] プロパティ(S)

状態: 準備完了
種類: [プリンタ種類]
出力先: LPT1: ☒ 出力用紙指定(O)

用紙(A): A4 210 x 297 mm ☐ 用紙フィット(J)
給紙(B): 自動選択 ☐ 任意倍率(K) (L): 100

印刷方向: ☐ 縦印刷(C) ☒ 横印刷(D)
縮小拡大: ☒ ON(E) ☐ OFF(F) ☒ マルチ印刷(M)
位置合わせ: ☒ 左上(G) ☐ 中央(H) ☐ 中央線(I) ☐ 縦方向(N) ☒ 横方向(O)

※位置合わせの「中央線」はマルチ印刷時のみ有効です。

OK キャンセル

5

『プリンタ選択画面』で **OK** をクリックすると印刷が開始され、『印刷中画面』が表示される。

途中で印刷を中止するときは、**印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了すると『印刷種別選択画面』に戻ります。

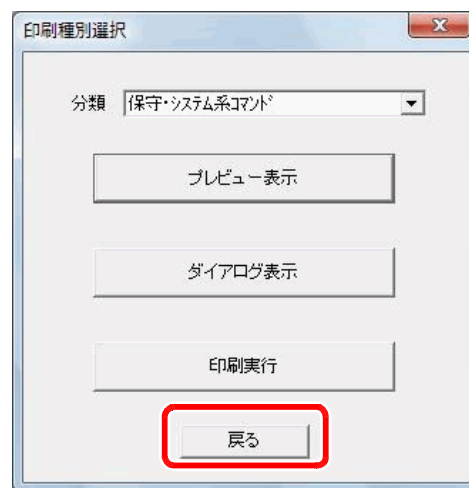
印刷中

印刷中です。

印刷中止(C)

6

『印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする。

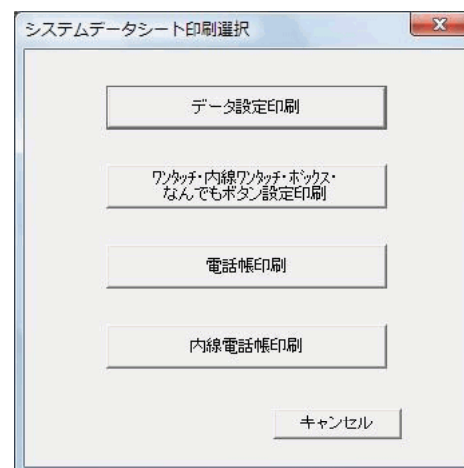


7

『システムデータシート印刷選択画面』となる。

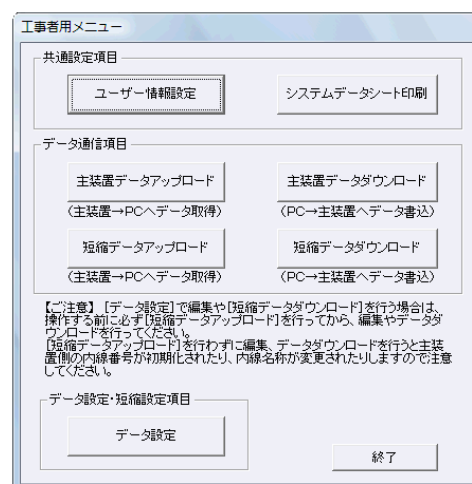
他に印刷したい内容があれば、該当するボタンをクリックし操作3から繰り返します。

他に印刷したい内容がなければ、**キャンセル** をクリックします。



8

『工事者用メニュー画面』に戻る。



6. 主装置データダウンロード／短縮データダウンロード～プログラムの終了

パソコン側のデータ設定（ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む）、電話帳データを主装置にダウンロードします。

※データ設定（ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む）、電話帳データ（電話帳および内線電話帳）は個別にダウンロードします。

下記手順で行います。（『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。）

1 『工事者用メニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

主装置データダウンロード … パソコン側のデータ設定内容（ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む）を主装置側にダウンロードするとき

短縮データダウンロード … パソコン側の電話帳および内線電話帳のデータを主装置側にダウンロードするとき

★パソコン側のデータ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番でダウンロードしてください。「主装置データダウンロード」を先に行うと、ワンタッチダイヤルが反映されません。

①短縮データダウンロード

②主装置データダウンロード

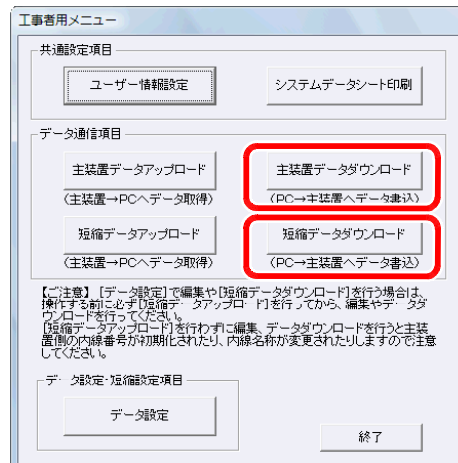
★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳、内線電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「主装置データアップロード」や「短縮データアップロード」を先に行ってください。

①「主装置データアップロード」、「短縮データアップロード」の実行（必要なもの）⇒P2-2参照

②「ファイルデータ読込」は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正する。⇒P2-6参照

※ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。

③「主装置データダウンロード」、「短縮データダウンロード」の実行（必要なもの）



2 『主装置データダウンロード確認画面』または『短縮データダウンロード確認画面』が表示される。

短縮データ・内線電話帳データをダウンロードする場合には、ダウンロードしたい短縮番号や内線電話帳のチェックボックスにチェックを入れてから、**OK** をクリックする。

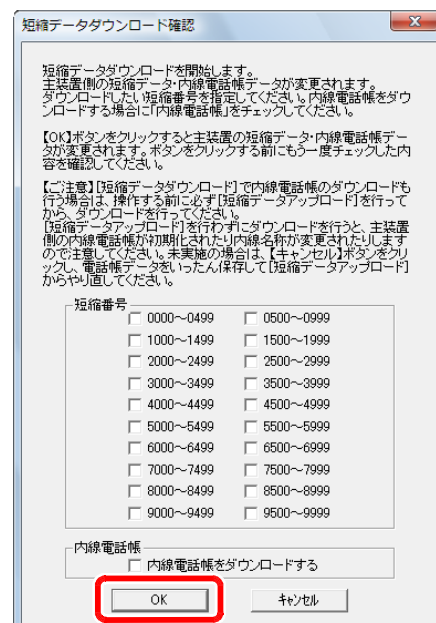
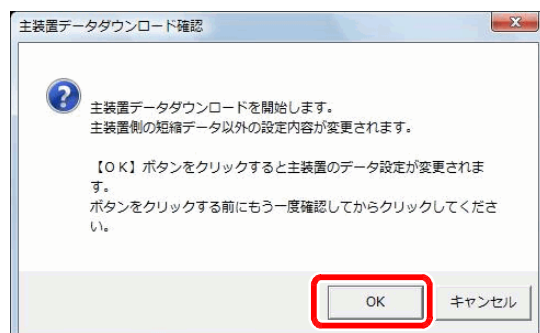
中止する場合には、**キャンセル** をクリックする。

★短縮データをダウンロードしようとして「主装置データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データ以外の設定内容が変更されますので注意してください。

★データ設定をダウンロードしようとして「短縮データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データが変更されますので注意してください。

★**OK** クリック後は、ダウンロードを中断できないので注意してください。

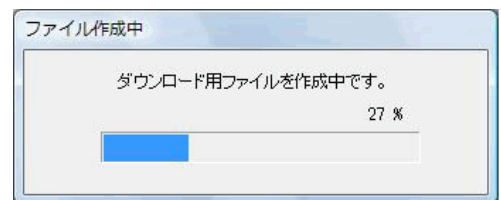
※ **キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。



3

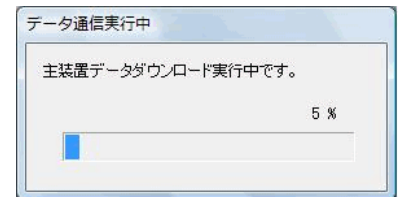
『ファイル作成中画面』が表示される。(「主装置データダウンロード」の場合のみ)

※インジケータにファイル作成の進行状況が表示されます。



ファイル作成が完了すると、『データ通信実行中画面』が表示される。
(右図は「主装置データダウンロード」の例)

※インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。



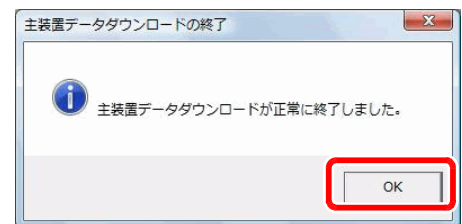
4

ダウンロードが完了すると『主装置データダウンロードの終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

(「主装置データダウンロード」の例)

『工事者用メニュー画面』に戻ります。

※「短縮データダウンロード」の場合は、『短縮データダウンロードの終了画面』が表示されます。



ご注意

★ダウンロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★ダウンロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、ダウンロードをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラムの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P2-2参照)まで戻ってからダウンロードをやり直してください。必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

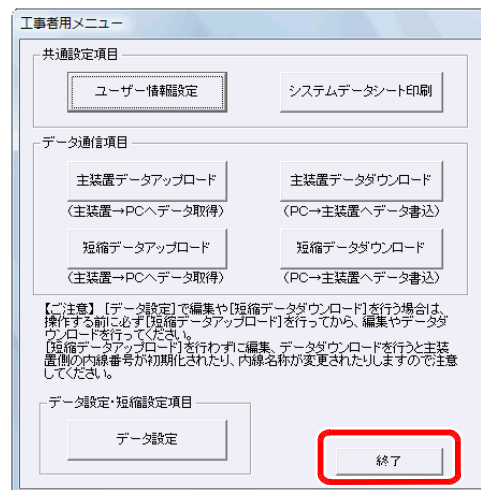
★電話機で電話帳を使用しているときに、本プログラムで電話帳データをダウンロードした場合、電話機で表示している番号とは異なる番号に発信したり発信ができないことがあります。電話帳データのダウンロードを行う場合は、なるべく電話機で電話帳を操作していないときに行ってください。

★「ナースコールID」(*740)、「ナースコールPS-ID毎の対応端末」(*741)、「簡易IVRのサービス番号」(*9183)は同一データを重複設定できません。既に主装置側が設定されている場合は、本プログラムからダウンロードしたときに一部または全てのデータが設定されないことがあります。主装置側の*740、*741、*9183の設定を全てクリアしてから本プログラムでダウンロードしてください。

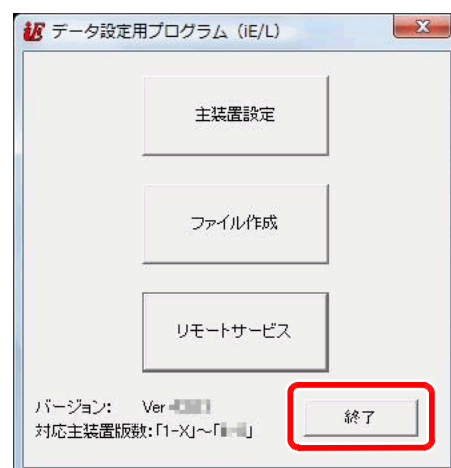
※本プログラム側で*740、*741および*9183の設定を全てクリアしたものを一旦ダウンロードすることにより、主装置側の設定を全てクリアすることもできます。

★夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに関するデータ設定(*394、*601、*680、*686)が変更されます。本プログラムでダウンロードする上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、ダウンロードしたデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。ダウンロード終了後に主装置の電源をOFF/ONすることにより、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができますが、困難な場合は、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえでダウンロードを行ってください。

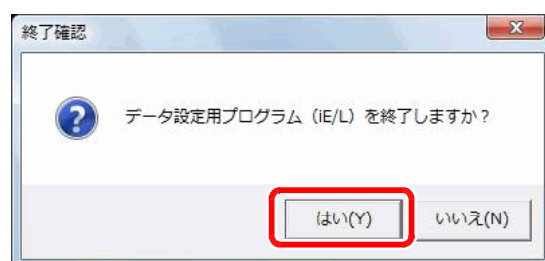
- 5 『工事者用メニュー画面』に戻る。
作業が全て終了の場合は **終了** をクリックする。



- 6 『メイン画面』が表示されるので、**終了** をクリックする。



- 7 『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。
※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



ご注意

★プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定、RECU再生ボタンの自動割り付けを含む)、ストレートラインDIの設定等、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ残りが発生することがありますが、故障ではありません。システムの再立ち上げを行うと正常に戻ります。

下記の操作を行ってください。

①主装置の電源スイッチをOFFにする。 ⇒ ②約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

7. 主装置交換時の処置方法

主装置の故障により主装置交換を行うときは、以下の手順で行ってください。

- ①故障した主装置にパソコンを接続し、本プログラムで主装置のデータをアップロードする。⇒P2-2参照
★アップロードしたデータをそのまま代品の主装置にダウンロードしますので、本プログラムを終了させないでください。また、必要に応じてファイル保存を行ってください。
- ②メニュー機能のみで設定可能なデータ(内線名称等)、「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」、「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンドを紙などに記録する。
- ③代品の主装置のメモリバックアップ用スイッチをONにし、主装置の電源を入れる。
- ④代品の主装置にパソコンを接続する。⇒P1-2参照
- ⑤本プログラムの『メイン画面』(P2-2参照)まで戻る。
★アップロードしたデータをそのまま代品の主装置にダウンロードしますので、本プログラムを終了させないでください。
- ⑥代品の主装置に①で読み込んだデータをダウンロードする。⇒P2-21参照
- ⑦代品の主装置に②で記録したデータの設定を行う。⇒主装置の「取扱説明書」や「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」参照

ご注意

★故障した主装置の電源が立ち上がらない場合は、データのアップロードを行うことができませんので、設置工事が完了したら必ず下記データのファイル保存作業を行っておいてください。

- (1) データ設定
- (2) ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル
- (3) 電話帳ファイル
- (4) 内線電話帳ファイル

特に、下記のデータは本プログラムで保存できませんので、紙などに記録してください。

- (1) 「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」、「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンド

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。(参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。)

[1] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする (設定済のファイル*1がない場合)

プログラム起動 P 3-2 参照
「リモートサービス」を選択 P 3-2 参照
「ユーザー情報設定」を実行 P 3-3 参照
「リモート主装置データアップロード」、または
「リモート短縮データアップロード」を実行
P 3-4 参照
ファイル保存*2 P 3-7 参照
データ設定
ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
電話帳ファイル
内線電話帳ファイル

[2] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする (設定済のファイル*1がある場合)

プログラム起動 P 3-2 参照
「リモートサービス」を選択 P 3-2 参照
設定済ファイル読込*1 P 3-7 参照
データ設定
ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
電話帳ファイル
内線電話帳ファイル
「リモート主装置データアップロード」、または
「リモート短縮データアップロード」を実行 P 3-4 参照
ファイル保存*2 P 3-7 参照
データ設定
ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
電話帳ファイル
内線電話帳ファイル

[3] 主装置にデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータをダウンロードする (設定済のファイル*1がない場合)

プログラム起動 P 3-2 参照
「リモートサービス」を選択 P 3-2 参照
「ユーザー情報設定」を実行 P 3-3 参照
「リモート主装置データアップロード」を実行*3
P 3-4 参照
PCでのデータ作成/変更*4、ファイル保存 P 3-7 参照
データ設定
ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
「リモート主装置データダウンロード」を実行
P 3-16 参照

[4] 主装置にデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータをダウンロードする (設定済のファイル*1がある場合)

プログラム起動 P 3-2 参照
「リモートサービス」を選択 P 3-2 参照
設定済ファイル読込*1 P 3-7 参照
「リモート主装置データアップロード」を実行*3
P 3-4 参照
ファイル読込*5、PCでのデータ作成/変更*6
ファイル保存 P 3-7 参照
データ設定
ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
「リモート主装置データダウンロード」を実行
P 3-16 参照

[5] 主装置に短縮データをダウンロードする (設定済のファイル*1がない場合)

プログラム起動 P 3-2 参照
「リモートサービス」を選択 P 3-2 参照
「ユーザー情報設定」を実行 P 3-3 参照
「リモート短縮データアップロード」を実行*3
P 3-4 参照
PCでの短縮データ作成/変更*4、ファイル保存
P 3-7 参照
電話帳ファイル
内線電話帳ファイル
「リモート短縮データダウンロード」を実行
P 3-16 参照

[6] 主装置に短縮データをダウンロードする (設定済のファイル*1がある場合)

プログラム起動 P 3-2 参照
「リモートサービス」を選択 P 3-2 参照
設定済ファイル読込*1 P 3-7 参照
「リモート短縮データアップロード」を実行*3
P 3-4 参照
短縮データファイル読込*5、
PCでの短縮データ作成/変更*6、ファイル保存
P 3-7 参照
電話帳ファイル
内線電話帳ファイル
「リモート短縮データダウンロード」を実行
P 3-16 参照

*1: 発信先の電話番号を抽出するために使用します。

対象となる主装置のデータ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ(電話帳、内線電話帳)のファイルで、PCリモート用の電話番号が登録(ユーザー情報設定で登録)されているものがが必要です。

*2: 必要なものを保存してください。

*3: 初期状態の主装置にダウンロードする場合は不要です。 **初期状態でない主装置の場合は、必ず実行してください。**

*4: 主装置からアップロードしたデータを変更します。

*5: 主装置にダウンロードするファイルがあるときにのみ、ファイルを読み込みます。

初期状態でない主装置の場合は、ファイルを読み込まずアップロードしたデータを変更してください。

*6: 読み込んだファイル、または主装置からアップロードしたデータを変更します。(必要時)

2. プログラムの起動

事前確認

- (1) お客様側の回線は「ナンバー・ディスプレイ」や「INSナンバー・ディスプレイ」を契約しているか？（アナログ回線の場合はコマンド *410 の設定も必要）
- (2) 主装置側のデータ設定コマンドは設定されているか？（*034、*035）
設定されていない場合は、パソコンリモートサービスはできません。
- (3) パソコンのモデムはコマンド *035 で設定した回線に接続されているか？（ISDN回線の場合は、TA等のアナログポートにパソコンのモデムを接続する。）
- (4) ダイヤルアップWeb設定用のモデム設定はされているか？（P1 - 7 参照）
- (5) ダイヤルアップWeb設定用IPアドレス *9406 にIPアドレスの設定はされているか？

ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、「ナンバー・ディスプレイ」、「INSナンバー・ディスプレイ」の契約や、コマンド *034、*035 の設定は不要です。また、発信側・着信側は任意の外線を使用できます。

1

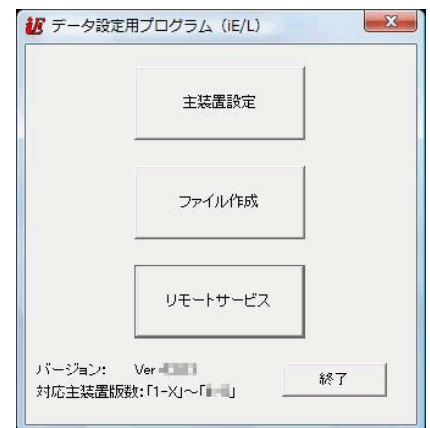
本プログラムを起動すると「メイン画面」が表示される。

各ボタンの説明

主装置設定 ... 主装置に接続して、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのアップロードや、変更、ダウンロードを行う。（詳細は、第2部を参照）

ファイル作成 ... 主装置に接続せず、事前にデータ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。

リモートサービス ... 公衆回線経由で、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのリモートサービスを行う。



2

「メイン画面」で **リモートサービス** をクリックすると、「PCリモートメニュー画面」となる。

各ボタンの説明 (PCリモート専用)

リモート主装置データアップロード ... リモートサービスで主装置側のデータ設定内容 (ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータを含む) をパソコン側にアップロードします。

リモート主装置データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容 (ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータを含む) を主装置側にダウンロードします。

リモート短縮データアップロード ... リモートサービスで主装置側の電話帳および内線電話帳をパソコン側にアップロードします。

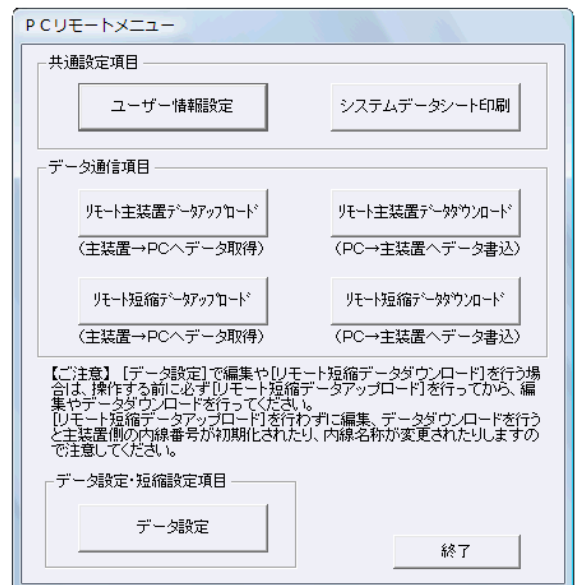
リモート短縮データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側の電話帳および内線電話帳を主装置側にダウンロードします。

各ボタンの説明 (PCデータ設定と同一機能のもの)

ユーザー情報設定 ... ユーザーの会社名や電話番号等の情報を登録します。（ファイルに登録情報を付加します。）

システムデータシート印刷 ... パソコン上にあるデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データ、内線電話帳データをプリントアウトします。

データ設定 ... パソコン上でデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データ、内線電話帳データの変更、ファイル保存、ファイル読込を行います。



3. ユーザー情報設定

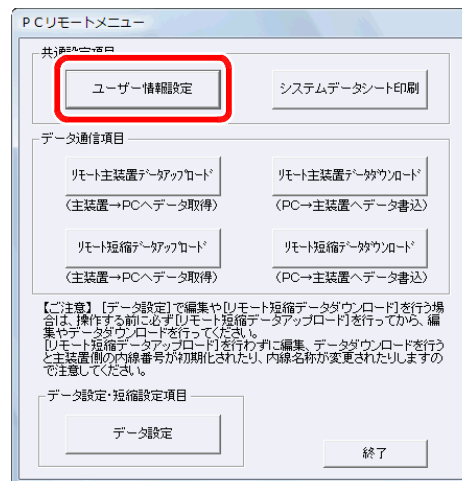
パソコンリモートサービスを行う場合、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に自動的に発信します。
登録する電話番号は、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線（ダイヤルアップWeb設定と兼用）に対応する電話番号またはダイヤルイン番号（コマンド *034 で設定）を必ず設定してください。

ユーザー情報（PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること）が保存されているデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳、内線電話帳の何れかのファイルを読み込んだときは、本設定は不要です。

ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド *034 に対応した電話番号以外を入力することも可能です。

下記手順で行います。（『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。）

1 「PCリモートメニュー画面」で **ユーザー情報設定** をクリックする。



2 必要事項を記入し、**登録** をクリックする。

各欄は下記の範囲内で入力してください。
お客様の名前や電話番号等の情報を入力しておきます。
(データ設定内容には影響しません。)

ユーザー名: 全角12文字(半角24文字)まで
お客様の会社名等を入力してください。

担当者名: 全角12文字(半角24文字)まで
ユーザーが会社等で担当の方がいる場合は、担当の方の名前等を入力してください。

電話番号: 半角数字

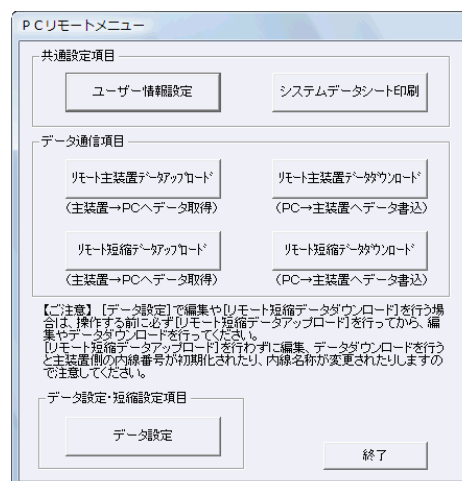
PCリモート用の電話番号を入力してください。
ISDN外線同士のPCリモートを行う場合は、下記登録でも可能:
電話番号(コマンド *034 以外も可) + *(注) + PCリモート用サブ
アドレス5桁(0 + コマンド *000 のパスワード)

設置年月日: 全角12文字(半角24文字)まで

設置メモ: 全角36文字(半角72文字)まで
改行も全角1文字とみなします。

(注) * はサブアドレスの区切りです。接続するTAの仕様に従ってください。

3 「PCリモートメニュー画面」に戻る。



4. リモート主装置データアップロード/リモート短縮データアップロード

主装置のデータ設定(ワンタッチダイヤルボタン・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳データをリモートサービスによってパソコンにアップロードします。

データ設定(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳、内線電話帳は個別にアップロードします。

アップロードを行う前に下記の何れかを行う必要があります。

- ・「ユーザー情報設定」でユーザー名や電話番号を登録する。(P3-3参照)
- ・ユーザー情報(PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、電話帳、内線電話帳の何れかのファイルを読み込む。(P3-7参照)

下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 「PCリモートメニュー画面」で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データアップロード ... リモートサービスで主装置側のデータ設定内容(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)をパソコン側にアップロードするとき

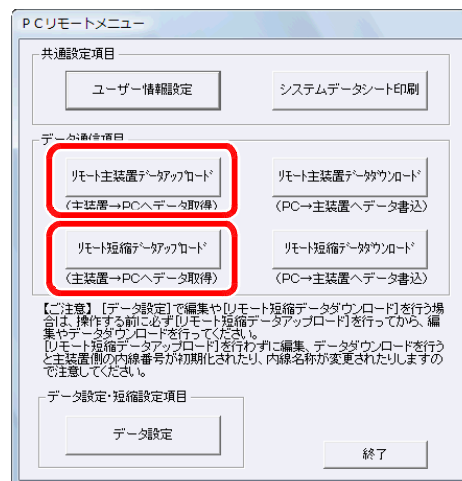
リモート短縮データアップロード ... リモートサービスで主装置側の電話帳および内線電話帳をパソコン側にアップロードするとき

主装置側のデータ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番でアップロードしてください。」「リモート主装置データアップロード」を先に行くと、ワンタッチダイヤルが反映されません。

リモート短縮データアップロード

リモート主装置データアップロード

新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳、内線電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「リモート主装置データアップロード」や「リモート短縮データアップロード」を先に行ってください。



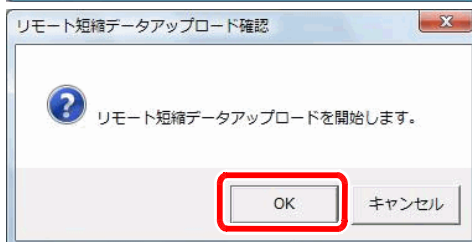
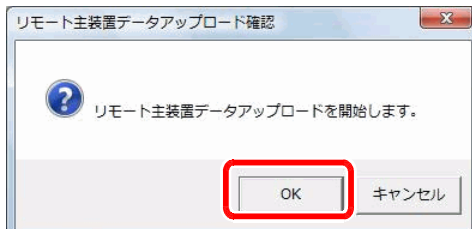
2 「リモート主装置データアップロード確認画面」または「リモート短縮データアップロード確認画面」が表示される。

これからアップロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

短縮データをアップロードしようとして「リモート主装置データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データ以外の設定内容が変更されますので注意してください。

データ設定をアップロードしようとして「リモート短縮データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データが変更されますので注意してください。



3

「発信先選択画面」が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号に誤りがないか確認し、**発信**をクリックする。

「接続名」が表示されない場合は、ダイヤルアップ接続が設定されていません。

設定方法は、本マニュアルの「1 - 8 ダイヤルアップ接続の設定方法 (パソコンリモートサービス利用時)」(P1 - 7)を参照してください。(ダイヤルアップ接続にて電話番号を設定しますが、「パソコンリモートサービス」を利用するときは、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に発信します。)

発信先番号に誤りがある場合は、「ユーザー情報設定」をやり直してください。(P3-3参照)

各フィールドの説明

- ・発信先名称 ... 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー名」に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 ... 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー電話番号」に登録されている内容が表示されます。

4

「主装置接続中画面」が表示される。

「主装置接続中画面」が表示されている間は、**キャンセル**をクリックすると通信を切断し「発信先選択画面」に戻ります。

主装置との接続が完了すると、「データ通信実行中画面」が表示される。

(右図は「リモート主装置データアップロード」の例)

インジケータにアップロードの進行状況が表示されます。

エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると「発信先選択画面」に戻ります。

5

アップロードが完了すると「リモート主装置データアップロードの終了画面」が表示されるので、**OK**をクリックする。

(「リモート主装置データアップロード」の例)

「リモート短縮データアップロード」の場合は、「リモート短縮データアップロードの終了画面」が表示されます。

ご注意

リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面の **OK** をクリックし、「メイン画面」(P3-2)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。

他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

「PCリモートメニュー画面」に戻る。

「リモート主装置データアップロード」に「リモート短縮データアップロード」(または「リモート短縮データアップロード」以外に「リモート主装置データアップロード」)も行う場合は、操作1から繰り返します。

ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータは、データ設定と共にアップロードされます。

PCリモートメニュー

共通設定項目

ユーザー情報設定 システムデータシート印刷

データ通信項目

リモート主装置データアップロード
(主装置→PCへデータ取得)

リモート主装置データダウンロード
(PC→主装置へデータ書込)

リモート短縮データアップロード
(主装置→PCへデータ取得)

リモート短縮データダウンロード
(PC→主装置へデータ書込)

【ご注意】「データ設定」を編集や「リモート短縮データダウンロード」を行う場合は、操作する前に必ず「リモート短縮データアップロード」を行ってから、編集やデータダウンロードを行ってください。
「リモート短縮データアップロード」を行わずに編集、データダウンロードを行うと主装置側の内線番号が初期化されたり、内線名称が変更されたりしますので注意してください。

データ設定・短縮設定項目

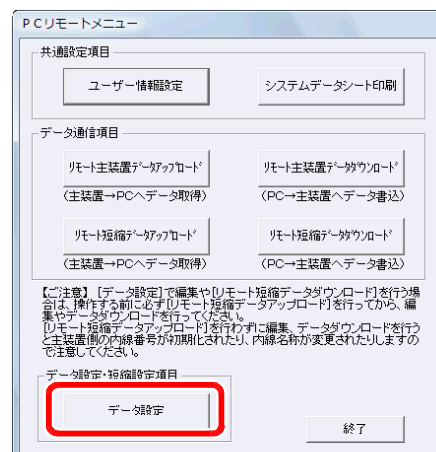
データ設定

終了

5. データ設定

データ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳、内線電話帳のファイル設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。(第2部 (パソコンデータ設定編) と同様)
下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 'PCリモートメニュー画面'で **データ設定** をクリックする。



2 'メニュー選択画面'となる。

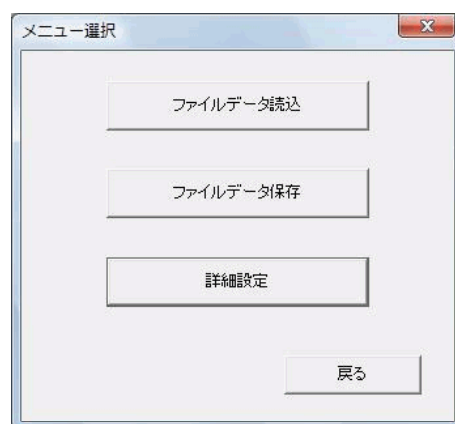
各ボタンの説明

ファイルデータ読込 ... 事前設定またはバックアップしたデータ設定や電話帳データ等の設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にあるデータ設定や電話帳データ等をファイル保存します。 P3-11参照

詳細設定 ... パソコン上でデータ設定や電話帳等を変更します。

戻る ... 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。

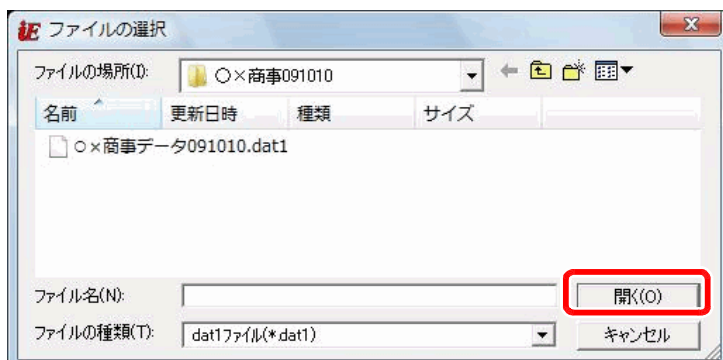
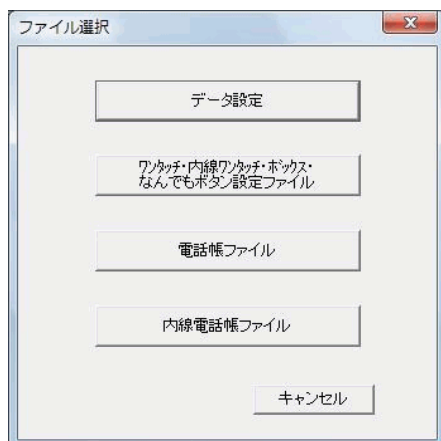


既に作成済のファイルを修正するときは、「詳細設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

'メニュー選択画面'で **ファイルデータ読込** をクリックします。

'ファイル選択画面'で読み込むファイルの種類を選択します。

読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



「ファイルデータ読込」を行う場合は、下記の順番で各データを読み込んでください。読込の順番が正しくないと「ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチボタン・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン」の設定が反映されない場合があります。

データ設定

電話帳ファイル

内線電話帳ファイル

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル

3 操作2の「メニュー選択画面」で **【詳細設定】** をクリックすると、「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示される。

各ページを開くと、現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。

下記に設定用のWeb画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。

下記の画面は概略の説明用です。表示内容は実際と多少異なる場合があります。

各コマンド区分毎に、コマンド番号順に分類されています。

コマンド区分をクリックすると、ページ一覧およびコマンド番号が表示されます。

該当するページをクリックし、各設定を行います。

現在表示しているページは色を変えて表示します。

外線系その他のコマンド

***610 【転送電話の転送先呼出時間】**

転送電話の一回の呼出時間を設定します。(設定単位は10秒毎です。)

転送先呼出時間	<input type="radio"/> 20秒	<input type="radio"/> 30秒	<input type="radio"/> 40秒	<input checked="" type="radio"/> 50秒	<input type="radio"/> 60秒
	<input type="radio"/> 70秒	<input type="radio"/> 80秒	<input type="radio"/> 90秒	<input type="radio"/> 100秒	

***611 【転送電話通話時間】**

転送電話の通話成立後、強制切断までの通話時間を設定します。

転送電話通話時間	<input type="radio"/> 10分	<input type="radio"/> 20分	<input checked="" type="radio"/> 30分	<input type="radio"/> 40分	<input type="radio"/> 50分
	<input type="radio"/> 60分	<input type="radio"/> 70分	<input type="radio"/> 80分	<input type="radio"/> 90分	<input type="radio"/> 100分
	<input type="radio"/> 110分	<input type="radio"/> 120分	<input type="radio"/> 130分	<input type="radio"/> 140分	<input type="radio"/> 150分

***612 【転送電話の発信外線の種類】**

転送電話の発信用外線を、システム全(半)体から選択するか、着信外線と同一テナント内から選択するかを設定します。

発信外線 ☐ システム ☒ 同一テナント

PAGE1(600~609) << 登録 >> PAGE3(614/3)

ページTOP

現在表示しているコマンド区分の前ページに移動するときにクリックします。

現在表示しているコマンド区分の次ページに移動するときにクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。


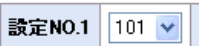
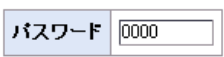

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

ご注意

同じ値を複数箇所に重複設定できないデータ設定コマンド(例: *030、*081、*082、*084、等)にて、重複設定した場合、電話機からの登録と異なり、最後に入力したデータが必ずしも有効にはなりません。また、設定範囲外のデータを入力可能な場合があります。 **【登録】** をクリックすると更新結果が表示されますので、間違いがないか確認してください。

必要な項目を設定する

「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の各コマンド説明を見ながら設定を行ってください。
下記に示す4種類の入力方法(表示のみを含む)があります。

種 類	表 示 例	操 作 方 法
ラジオボタン		設定する項目をクリックします。
リストボックス		プルダウン表示される候補を選択します。
エディットボックス		直接入力します。 設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、電話機からのデータ設定と異なりエラー表示しません。 必ずデータ設定マニュアルを参照して有効な値を入力してください。
表示のみ		モニタのみ可能で入力できません。

主装置のシステムデータ設定以外に、電話帳、内線電話帳、なんでもワンタッチボタン、ワンタッチボタン、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタンの設定を行うことができます。詳細説明は次ページを参照してください。

電話帳、内線電話帳:

電話機からの登録と同様に、電話帳は電話番号・名前・ヨミガナを入力、内線電話帳は内線名称・ヨミガナを入力します。

一部の記号を電話番号欄に入力できます。詳細は取扱説明書の「電話帳を登録する」を参照してください。

電話帳の用途欄は、共通電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ) / 1~7(iE/MLタイプ)」を、マイ電話帳の場合は電話機の収容位置(3桁)を入力します。また、共通電話帳は、リストボックスで短縮グループ、外線グループも選択します。

複数の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合、**登録** をクリックすると「短縮番号 番と番が重複して登録されています。」のエラー画面が表示されますが、エラー画面の **OK** をクリックすれば、重複して入力されている電話番号は短縮番号に登録されます。電話番号を重複して登録する必要がない場合は、どちらかの短縮番号を削除し再登録してください。

用途欄が同一範囲内で電話番号の重複チェックを行います。

3つ以上の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合は、若番側から2つの短縮番号がエラー画面に表示されます。

電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク(☎)が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

用途欄が共通電話帳管理番号「1または2(iE/Sタイプ) / 1~7(iE/MLタイプ)」以外の場合、または収容位置(3桁)以外の場合、**登録** をクリックするとエラーとなり入力が反映されません。

なんでもワンタッチボタン:

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機からのみ登録可能なボタンが既に登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン(右下の表に示す項目を含む)のみ登録が可能です。

なんでもワンタッチ ボタン登録操作	なんでも1	
	現在の登録	新しい登録
1	登録なし	登録なし
2	登録なし	登録なし
3	登録なし	登録なし
4	登録なし	登録なし

登録するボタンをプルダウンで表示されるものから選択します。

現在の登録内容を表示します。

ボタン以外の項目	備 考
登録なし	操作を登録しません。「登録なし」を登録した箇所以降の操作は無視されます。
変更不可	現在の登録のままとします。

ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタン:

現在の登録内容が別枠で表示されます(プログラムブルキーとして登録してあるボタンを含む)。

リストボックスに表示される機能(下表参照)を選択し、設定値を入力します。

現在の登録		機能選択	設定値
KEY01:	外線01	変更なし	01
KEY02:	内線02	変更なし	02
KEY10:	機能なし	ボックス	101

現在の登録内容を表示します。

登録するボタンの種類をプルダウンで表示されるものから選択します。

各ボタンに登録する設定値を入力します。

機能選択	設定値	備 考
変更なし	-	現在の登録内容のままとするときに選択します。
クリア	-	現在の登録を消去します。 プログラムブルキーが登録されているときも消去されますので、注意してください。
ワンタッチ	短縮番号(4桁)	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。 電話帳に電話番号が登録されていない短縮番号を入力した場合、 登録 をクリックしても入力が反映されません。
内線ワンタッチ	電話機収容位置(3桁)	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。 電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。
ボックス	電話機収容位置(3桁)	内線ボックスボタンを登録します。 電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。

- 短縮ダイヤル発信時に押す短縮ダイヤル番号の桁数を電話機毎に1~3桁に変更することもできますが、ワンタッチダイヤルボタンは電話帳に登録した4桁の短縮番号を登録します。
- 「内線ワンタッチボタン」は、内線番号のみサポートしています。
「内線一斉呼出」や「外部スピーカ呼出」等の特番を「内線ワンタッチボタン」に登録する場合は、電話機から行ってください。
- 留守番代行ボックスを登録する場合は、電話機から行ってください。

5

表示しているページ内の設定が完了したら画面一番下の **登録** をクリックする

外部機器に関するコマンド

***9222 【外部スピーカ、高音量ベルの鳴動対象電話機収容位置】**

外部スピーカ、高音量ベルの鳴動を、どの電話機の鳴動に連動させるかを設定します。

鳴動機器	外部スピーカ	高音量ベル1	高音量ベル2	高音量ベル3	高音量ベル4
対象電話機	000	000	000	000	000

***9223 【外部スピーカ、高音量ベルの鳴動範囲】**

外部スピーカ、高音量ベルの鳴動範囲を、外線着信のみとするか内線(ドアホン着信を含む)+外線着信とするかを設定します。

鳴動機器	外部スピーカ	高音量ベル1	高音量ベル2	高音量ベル3	高音量ベル4
外線	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
内線 + 外線	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

***9224 【外部スピーカの鳴動音の選択】**

外線着信時の外部スピーカの鳴動音を設定します。

外部スピーカ鳴動音: ☒ A ☐ B ☐ 保留音 ☐ 外部音源(EXU)

登録

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

6

全ての設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する

「Internet Explorer」を閉じてても設定内容は、消えません。

7

「メニュー選択画面」となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

メニュー選択

ファイルデータ読込

ファイルデータ保存

詳細設定

戻る

8

「ファイル選択画面」となるので、保存したいファイルの種類を選択し、クリックする。

各ボタンの説明

データ設定 ... Web画面で設定したデータ設定内容をファイル保存します。

保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約200KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約1.0MB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約2.0MB

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル ... Web画面で設定したワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタンの設定内容をファイル保存します。

保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約100KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約250KB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約500KB

電話帳ファイル ... Web画面で設定した電話帳の設定内容をファイル保存します。

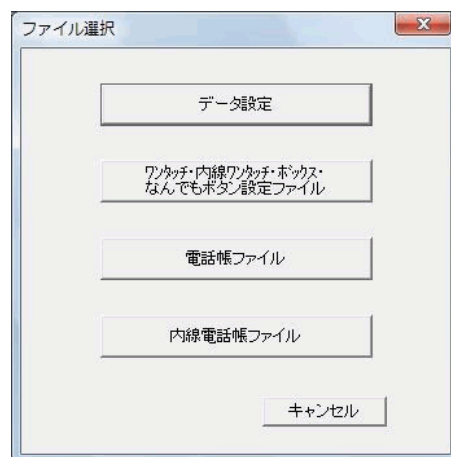
保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約800KB
 - ・データ設定用プログラム(iE / M): 約800KB
 - ・データ設定用プログラム(iE / L): 約800KB
- (メモリ数 = 10000件のとき)

内線電話帳ファイル ... Web画面で設定した内線電話帳の設定内容をファイル保存します。

保存に必要な容量:

- ・データ設定用プログラム(iE / S): 約10KB
- ・データ設定用プログラム(iE / M): 約10KB
- ・データ設定用プログラム(iE / L): 約10KB



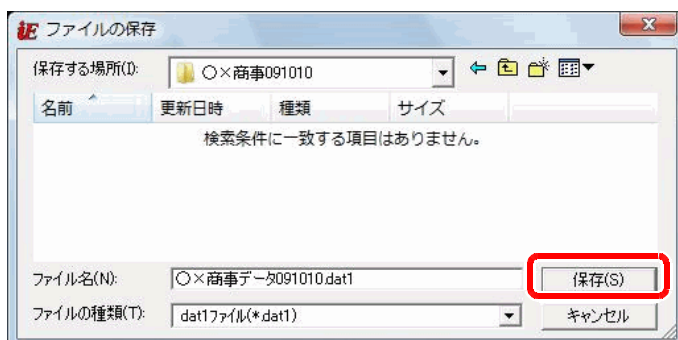
9

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

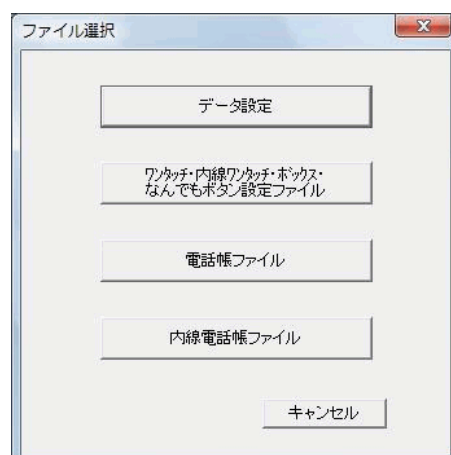
データ設定(.dat1)、ワンタッチダイヤルボタン等(.dat2)、電話帳(.dat3)、内線電話帳(.dat4)と各ファイルは別々の拡張子として保存されます。



10

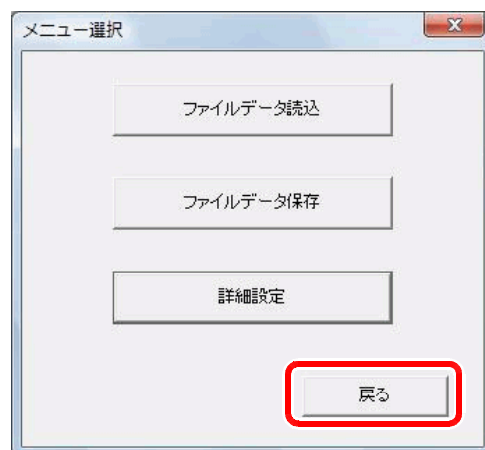
「ファイル選択画面」に戻る。

保存したいファイルが他にあれば操作8～操作9を繰り返し、保存するファイルがなければ、**キャンセル** をクリックする。



11

「メニュー選択画面」となるので、**戻る** をクリックする。



12

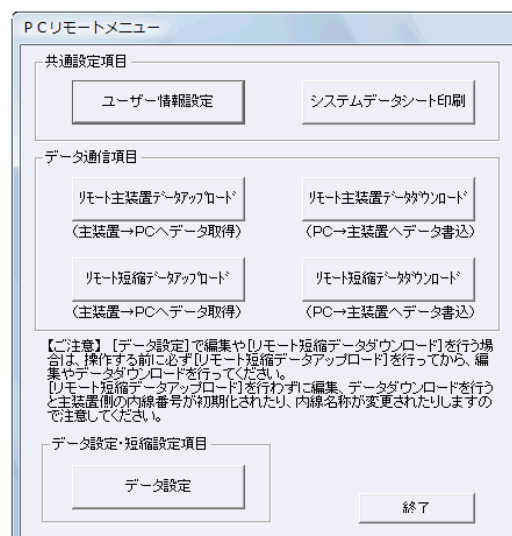
「PCリモートメニュー画面」に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...

P 3 - 1 6 を参照してください。

設定したデータを印刷する場合は...

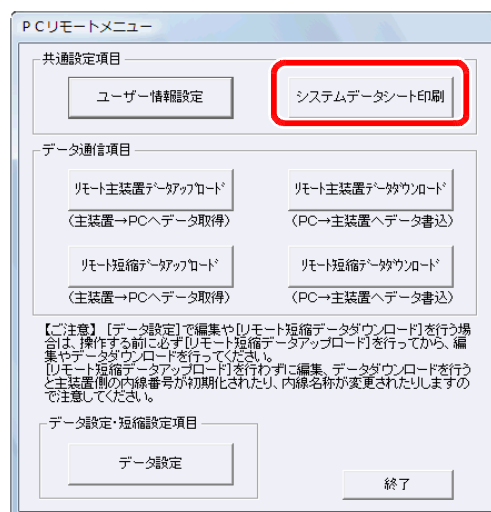
P 3 - 1 4 を参照してください。



6. システムデータシート印刷

パソコンに接続したプリンタでデータ設定や短縮の設定内容を印刷できます。(第2部 (パソコンデータ設定編) と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

- 1 『PCリモートメニュー画面』で **システムデータシート印刷** をクリックする。



- 2 『システムデータシート印刷選択画面』となるので、印刷したい内容のボタンをクリックする。

各ボタンの説明

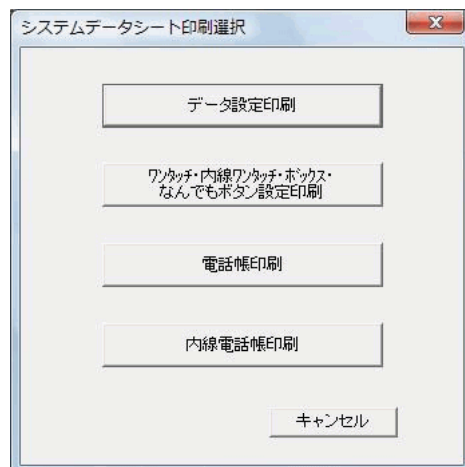
データ設定印刷 ... パソコン上にあるデータ設定内容を印刷します。

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定印刷 ... パソコン上にあるワンタッチダイヤルボタン等の登録内容を印刷します。
(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタンの登録内容の後に、なんでもワンタッチボタンの登録内容を印刷します。)

電話帳印刷 ... パソコン上にある電話帳データを印刷します。

内線電話帳印刷 ... パソコン上にある内線電話帳データを印刷します。

キャンセル ... 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。



- 3 『印刷種別選択画面』となります。

各ボタンの説明

プレビュー表示 ... 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。
(詳細は第2部のP2-18参照)

プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

2ページ分が横並びで印刷されます。

ダイアログ表示 ... プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(詳細は第2部のP2-19参照)

ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

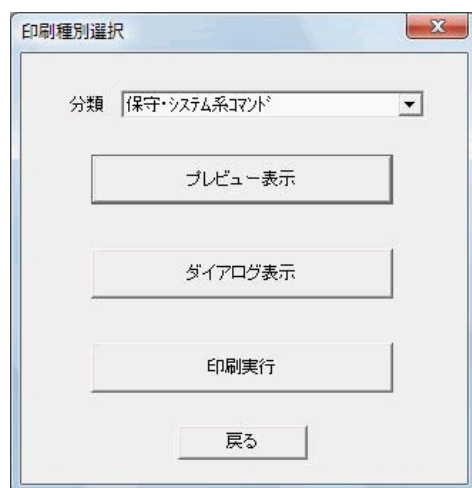
印刷実行 ... 印刷を実行します。

プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

2ページ分が横並びで印刷されます。

戻る ... 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



「分類」欄は、「データ設定用プログラム (iE / I) で「データ設定印刷」を選択したときのみ表示されます。プルダウンメニューから印刷したいコマンド分類を選択してから各ボタンをクリックしてください。

4

印刷が終了したら、『印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする。

『プレビュー画面』から印刷したときは、『プレビュー画面』の**終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。

その他の印刷種別を選択した場合は、印刷が終了すると『印刷種別選択画面』に戻ります。

印刷種別選択

分類: 保守・システム系コマンド

プレビュー表示

ダイアログ表示

印刷実行

戻る

5

『システムデータシート印刷選択画面』となる。

他に印刷したい内容があれば、該当するボタンをクリックし操作3から繰り返します。

他に印刷したい内容がなければ、**キャンセル** をクリックします。

システムデータシート印刷選択

データ設定印刷

ワタチ・内線ワタチ・ボックス・なんでもボタン設定印刷

電話帳印刷

内線電話帳印刷

キャンセル

6

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

PCリモートメニュー

共通設定項目

ユーザー情報設定

システムデータシート印刷

データ通信項目

リモート主装置データアップロード
(主装置→PCへデータ取得)

リモート主装置データダウンロード
(PC→主装置へデータ書込)

リモート短縮データアップロード
(主装置→PCへデータ取得)

リモート短縮データダウンロード
(PC→主装置へデータ書込)

【ご注意】
【データ設定】で編集や【リモート短縮データダウンロード】を行う場合は、操作する前に必ず【リモート短縮データアップロード】を行ってから、編集やデータダウンロードを行ってください。
【リモート短縮データアップロード】を行わずに編集、データダウンロードを行うと主装置側の内線番号が初期化されたり、内線名称が変更されたりしますので注意してください。

データ設定・短縮設定項目

データ設定

終了

7. リモート主装置データダウンロード/リモート短縮データダウンロード～プログラムの終了

パソコン側のデータ設定(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳データをリモートサービスによって主装置にダウンロードします。

データ設定(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳データ(電話帳および内線電話帳)は個別にダウンロードします。

ダウンロードを行う前に下記の何れかを行う必要があります。

- ・「ユーザー情報設定」でユーザー名や電話番号を登録する。(P3-3参照)
- ・ユーザー情報(PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、電話帳、内線電話帳の何れかのファイルを読み込む。(P3-7参照)

下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)を主装置側にダウンロードするとき

リモート短縮データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側の電話帳および内線電話帳のデータを主装置側にダウンロードするとき

パソコン側のデータ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番でダウンロードしてください。『リモート主装置データダウンロード』を先に行くと、ワンタッチダイヤルが反映されません。

リモート短縮データダウンロード

リモート主装置データダウンロード

新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳、内線電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず『リモート主装置データアップロード』や『リモート短縮データアップロード』を先に行ってください。

『リモート主装置データアップロード』、『リモート短縮データアップロード』の実行(必要なもの) P3-4参照

『ファイルデータ読込』は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正する。 P3-7参照

ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。

『リモート主装置データダウンロード』、『リモート短縮データダウンロード』の実行(必要なもの)

2

「リモート主装置データダウンロード確認画面」または「リモート短縮データダウンロード確認画面」が表示される。

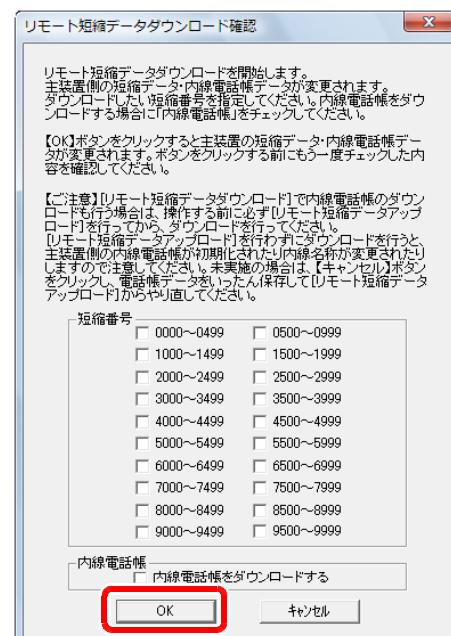
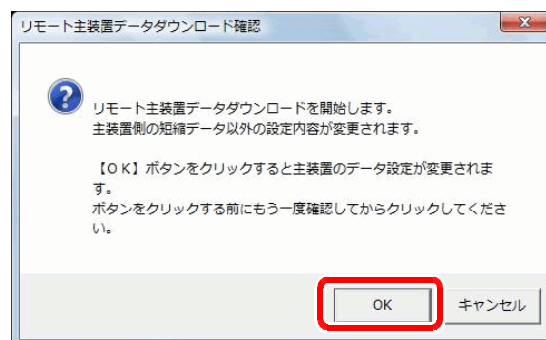
短縮データ・内線電話帳データをダウンロードする場合には、ダウンロードしたい短縮番号や内線電話帳のチェックボックスにチェックを入れてから、**OK** をクリックする。

中止する場合には、**キャンセル** をクリックする。

短縮データをダウンロードしようとして「リモート主装置データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データ以外の設定内容が変更されますので注意してください。データ設定をダウンロードしようとして「リモート短縮データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データが変更されますので注意してください。

OK クリック後は、ダウンロードを中断できないので注意してください。

キャンセル をクリックすると、「PCリモートメニュー画面」に戻ります。



3

「発信先選択画面」が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号に誤りがないか確認し、**発信** をクリックする。

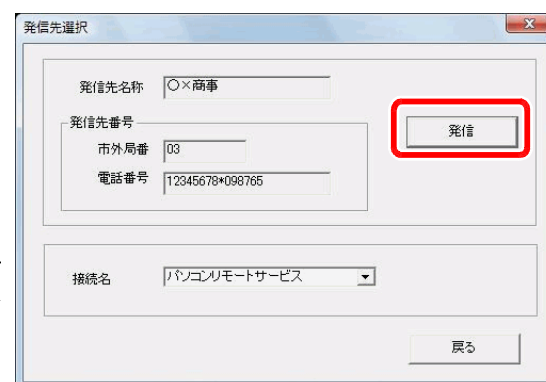
「接続名」が表示されない場合は、ダイヤルアップ接続が設定されていません。

設定方法は、本マニュアルの「1 - 8 ダイヤルアップ接続の設定方法 (パソコンリモートサービス利用時)」(P1 - 7)を参照してください。(ダイヤルアップ接続にて電話番号を設定しますが、「パソコンリモートサービス」を利用するときは、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に発信します。)

発信先番号に誤りがある場合は、「ユーザー情報設定」をやり直してください。(P3-3参照)

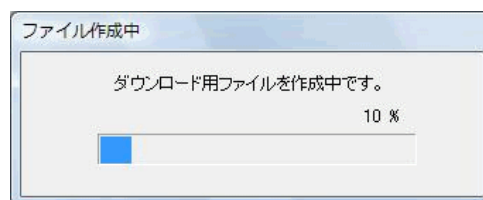
各フィールドの説明

- ・発信先名称 ... 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー名」に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 ... 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー電話番号」に登録されている内容が表示されます。



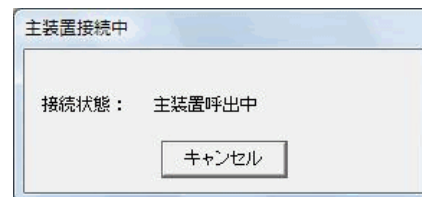
「ファイル作成中画面」が表示される。(「リモート主装置データダウンロード」の場合のみ)

インジケータにファイル作成の進行状況が表示されます。



ファイル作成完了後は「主装置接続中画面」が表示される。

「主装置接続中画面」が表示されている間は、**キャンセル** をクリックすると通信を切断し「発信先選択画面」に戻ります。

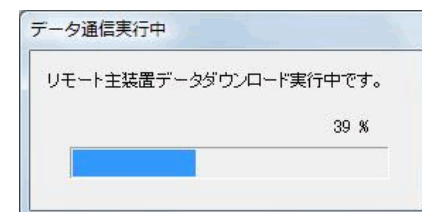


主装置との接続が完了すると、「データ通信実行中画面」が表示される。

(右図は「リモート主装置データダウンロード」の例)

インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。

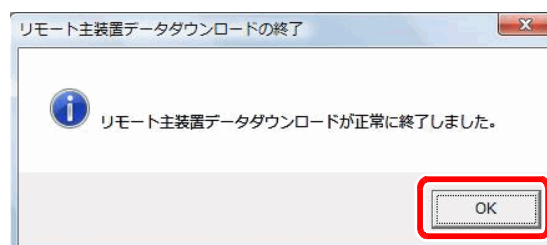
エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると「発信先選択画面」に戻ります。



ダウンロードが完了すると「リモート主装置データダウンロードの終了画面」が表示されるので、**OK** をクリックする。

(「リモート主装置データダウンロード」の例)

「リモート短縮データダウンロード」の場合は、「リモート短縮データダウンロードの終了画面」が表示されます。



ご注意

リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面の **OK** をクリックし、「メイン画面」(P3-2)まで戻ってからダウンロードをやり直してください。

必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。

他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定を含む)、ストレートラインDIの設定等、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ残りが発生することがありますが、故障ではありません。システムの再立ち上げを行うと正常に戻ります。

お客様に事情を説明し、下記操作をお願いしてください。

主装置の電源スイッチをOFFにする。 約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

「ナースコールID」(*740)、「ナースコールPS-ID毎の対応端末」(*741)、「簡易IVRのサービス番号」(*9183)は同一データを重複設定できません。既に主装置側が設定されている場合は、本プログラムからダウンロードしたときに一部または全てのデータが設定されないことがあります。主装置側の*740、*741、*9183の設定を全てクリアしてから本プログラムでダウンロードしてください。

本プログラム側で*740、*741および*9183の設定を全てクリアしたものを一旦ダウンロードすることにより、主装置側の設定を全てクリアすることもできます。

夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに関するデータ設定(*394、*601、*680、*686)が変更されます。本プログラムでダウンロードする上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、ダウンロードしたデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。

ダウンロード終了後に主装置の電源をOFF/ONすることにより、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができますが、リモート通信では主装置の電源をOFF/ONすることができないため、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえでダウンロードを行ってください。

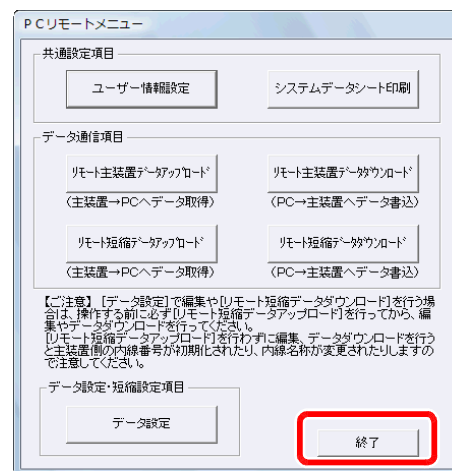
6

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

『リモート主装置データダウンロード』以外に『リモート短縮データダウンロード』(または『リモート短縮データダウンロード』以外に『リモート主装置データダウンロード』)も行う場合は、操作1から繰り返します。

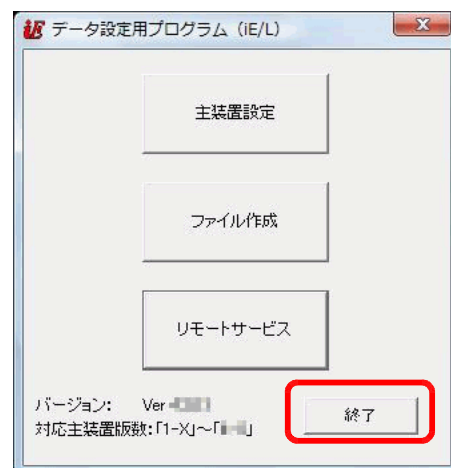
ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータは、データ設定と共にダウンロードされます。

作業が全て終了の場合は、**終了** をクリックします。



7

『メイン画面』が表示されるので、**終了** をクリックする。



8

『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。

いいえ(N) をクリックすると『メイン画面』に戻ります。

